

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年 2 月15日
【計算期間】	第15特定期間（第84期から第89期） （自 平成24年 5 月18日 至 平成24年11月19日）
【ファンド名】	G S新成長国債券ファンド
【発行者名】	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 桐谷 重毅
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番 1 号 六本木ヒルズ森タワー
【事務連絡者氏名】	法務部 山崎 誠吾
【連絡場所】	東京都港区六本木六丁目10番 1 号 六本木ヒルズ森タワー
【電話番号】	03－6437－6000
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

本ファンドは、主として「G S新成長国債券マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、新成長国の政府および政府関係機関等の発行する米ドル建て債券（新成長国債券）を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型 追加型	国 内 海 外 内 外	株 式 債 券 不動産投信 その他資産 () 資産複合	MMF MRF ETF	インデックス型 特殊型

（注）本ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

追加型・・・一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

海外・・・投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

債券・・・投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

■属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	対象インデックス	特殊型
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 () 不動産投信 その他資産 (投資信託証券 (債券)) 資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型	年1回 年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月) 日々 その他 ()	グローバル () 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) エマージング	ファミリー ファンド ファンド・ オブ・ファ ンズ	あり () なし	日経225 TOPIX その他 ()	ブル・ベア型 条件付運用型 ロング・ショート型 絶対収益追求型 その他 ()

（注）本ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

その他資産（投資信託証券（債券））・・・目論見書または投資信託約款において、投資信託証券への投資を通じて実質的に債券を投資収益の主たる源泉とする旨の記載があるものをいいます。

年12回（毎月）・・・目論見書または投資信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。

エマージング・・・目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

ファミリーファンド・・・目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいいます。

為替ヘッジなし・・・目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものをいいます。

上記は、一般社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。商品分類および属性区分の内容につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照ください。

本ファンドおよびマザーファンドを総称して「花ボンド」または「G S 新成長国債券ファンド」ということがあります。なお、文脈により別に解すべき場合を除き、「本ファンド」にマザーファンドが含まれることがあります。

委託会社は、受託銀行（後記「(3) ファンドの仕組み 2. ファンドの関係法人 ① 委託会社および本ファンドの関係法人の名称および関係業務 c. 受託会社」に定義します。以下同じ。）と合意のうえ、金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。追加信託が行われたときは、受託銀行はその引受けを証する書面を委託会社に交付します。なお、委託会社は、受託銀行と合意のうえ、上記の限度額を変更することができます。

<はじめに>

「GS新成長国債券ファンド」は、経済が成長段階あるいは開発途上にある先進国以外の国々の政府および政府関係機関が発行する米ドル建債券（新成長国債券）を主要投資対象とします。これらの国々の経済は、先進国の経済と比較して今後の成長余地も大きい一方で、脆弱で不安定な面も多く、信用度も相対的に低く評価されています。このため、新成長国債券は、一般的に価格変動幅が大きくデフォルト（債務不履行や支払遅延）のリスクも相対的に高いと考えられます。また、米ドル建てであるため、米国の金利変動の影響を大きく受けると考えられます。この他、先進国の国債等とは異なったリスクを有しています。

「GS新成長国債券ファンド」は、このようなリスクに応じた相対的に高い利回りが魅力であると同時に、発行国の経済成長や発展に伴う信用度の改善による債券価格の上昇も期待されます。

本ファンドのご購入を検討される際には、商品性格をよくご理解のうえお申込みください。

新成長国とは？	本ファンドにおいて、新成長国とは、国内経済が成長過程にあるとゴールドマン・サックス・グループが判断した、いわゆる先進国を除いた国および地域をいいます（一般的には、開発途上国、エマージング諸国と呼ばれる国を含みます。）。新成長国には、過去に経済危機を経験してきた国もあります。一方で、新成長国の中には、市場経済化、構造改革の進展等を通じて経済成長段階にある国、また、今後経済成長が期待できる国もあるといえます。
-----------------------	---

<ファンドのポイント>

1. 新成長国の政府および政府関係機関等の発行する米ドル建て債券（新成長国債券）に投資を行います。外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行わないため、基準価額は為替相場変動の影響を直接受けます。
※本ファンドは、米ドル建て債券のほか、米ドル以外の通貨建ての債券等に投資することがあります。ただし、米ドル以外の通貨建ての債券等は原則として米ドルに為替ヘッジします。
2. JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）を参考指標とします。
3. 原則として、毎月の決算時に収益の分配を行います。

運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

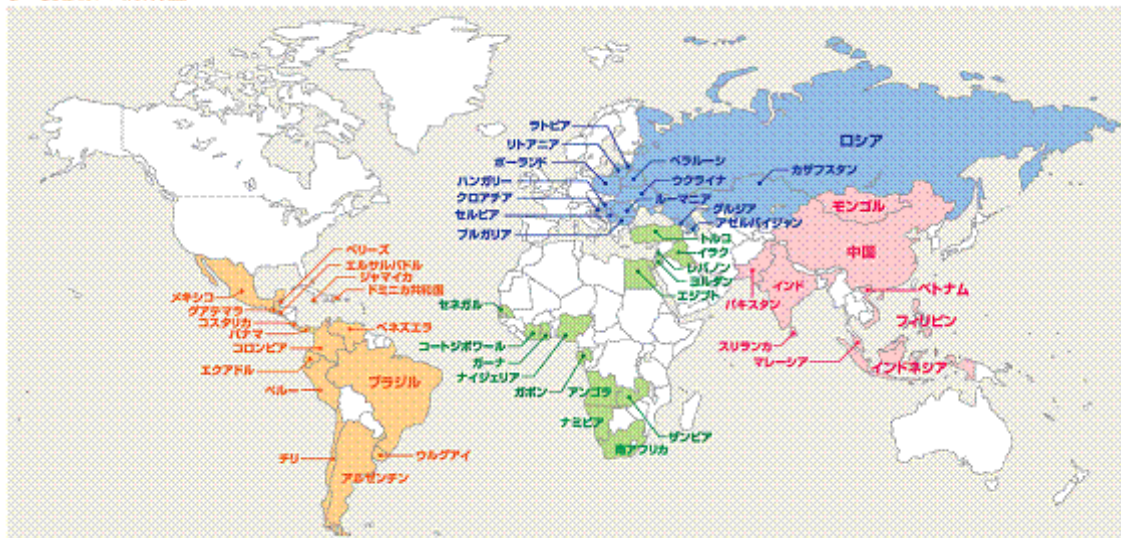
本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。委託会社は、本ファンドおよびマザーファンドの運用をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルおよびゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイー（投資顧問会社。以下それぞれ「GSAMニューヨーク」、「GSAMロンドン」および「GSAMシンガポール」といいます。）に委託します。GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールは運用の権限の委託を受けて、債券および通貨の運用を行います。

<参考指標>

本ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）を参考指標とします。

参考指標とするインデックスには、以下の53ヵ国の新成長国が含まれます。本ファンドでは、当インデックス構成国以外の新成長国に対しても投資を行うことがあります。また、当インデックス構成国であっても、必ずしも投資するとは限りません。

参考指標の構成国



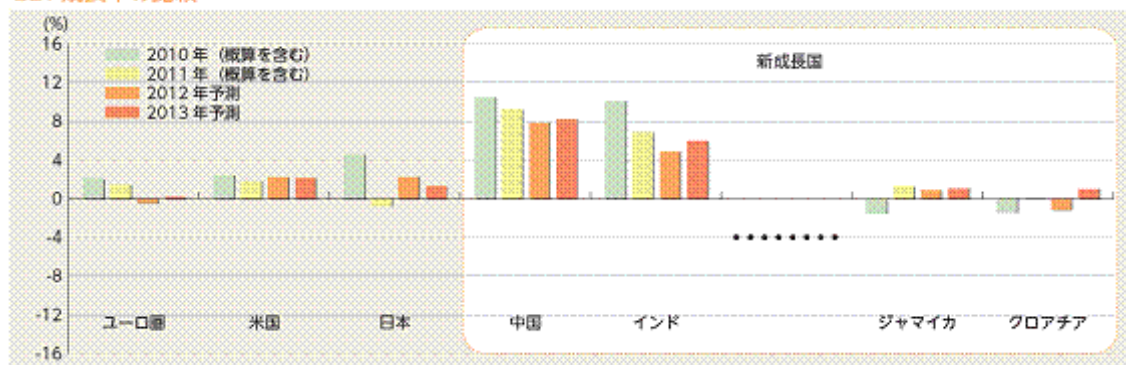
2012年11月末現在

<新成長国の経済成長>

新成長国債券の魅力は、新成長国における経済成長に対する期待にあるといえます。発行国の経済が成長することで、財務状況が改善し、信用力の向上に伴って資金の流入が期待できます。また、格上げにより、債券価格が上昇することも期待できます。

新成長国は、先進国と比較して高い経済成長率を有する傾向にあり、長期的に見ても、「BRICs（ブリックス）」*に代表されるように、高い経済成長率が見込まれる国があると考えられます。

GDP成長率の比較



出所：国際通貨基金（IMF）World Economic Outlook, October 2012

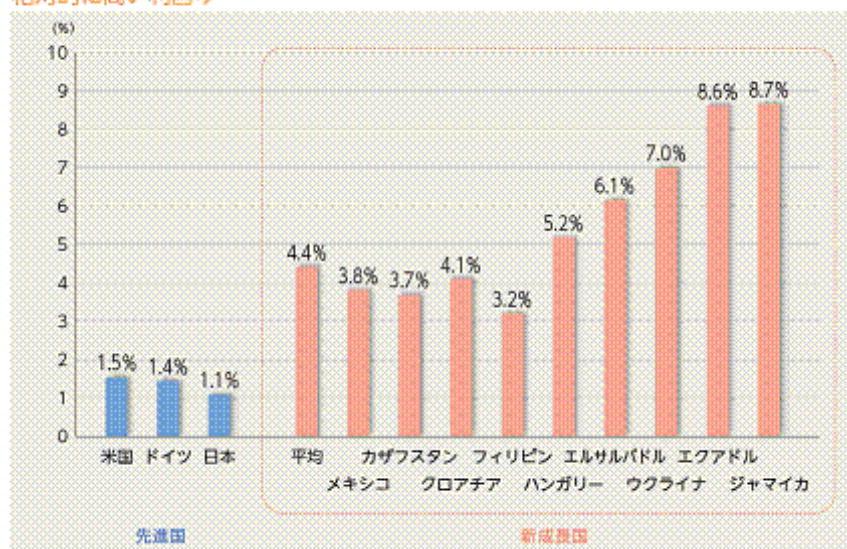
※2010年および2011年についても、一部の国には概算値を用いています。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は、高い不確実性を伴うものであり、大きく変動する可能性があります。予測機関は、予測値の達成を保証するものではありません。

*「BRICs（ブリックス）」とは、Brazil（ブラジル）、Russia（ロシア）、India（インド）、China（中国）の頭文字を合わせた4ヵ国の総称で、2001年にG S グローバル E C S 調査部が初めて発表しました。本ファンドはBRICsの債券にのみ投資をするのではなく、またBRICs 4ヵ国全ての債券に投資するとも限りません。

＜新成長国債券の利回り＞

新成長国は、一般的に、先進国に対して経済の成熟度や国の安定性の面で劣るとされており、債券の価格変動や債務不履行の可能性（デフォルト・リスク）は相対的に高いと考えられます。一方で、その見返りとして、新成長国債券は、同じ米ドル建ての債券でも先進国が発行する債券よりも相対的に高い利回りで取引されている傾向があります。

相対的に高い利回り



2012年11月末現在

出所：JPモルガン

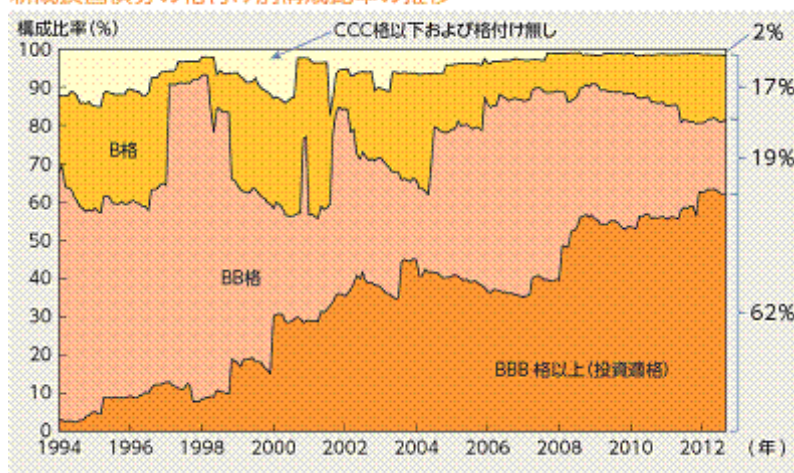
※新成長国の平均利回りおよび新成長国各国の利回りは、それぞれJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイドの最終利回りおよびその構成国別の最終利回り、米国、ドイツ、日本は、JPモルガン・グローバル・ガバメント・ボンド・インデックスの構成国の最終利回り。

※上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。インデックスの動きは将来大きく変動することがあります。

＜新成長国の信用格付け＞

新成長国の経済が改善し、ファンダメンタルズ面での改善傾向が幅広く見られます。それを受けて、現在では、以前より多くの新成長国債券が投資適格に分類されるようになりました。信用力（信用格付け）の格上げが行われた場合は、債券価格の上昇が期待できます。

新成長国債券の格付け別構成比率の推移



期間：1994年3月～2012年11月

出所：JPモルガン

新成長国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド

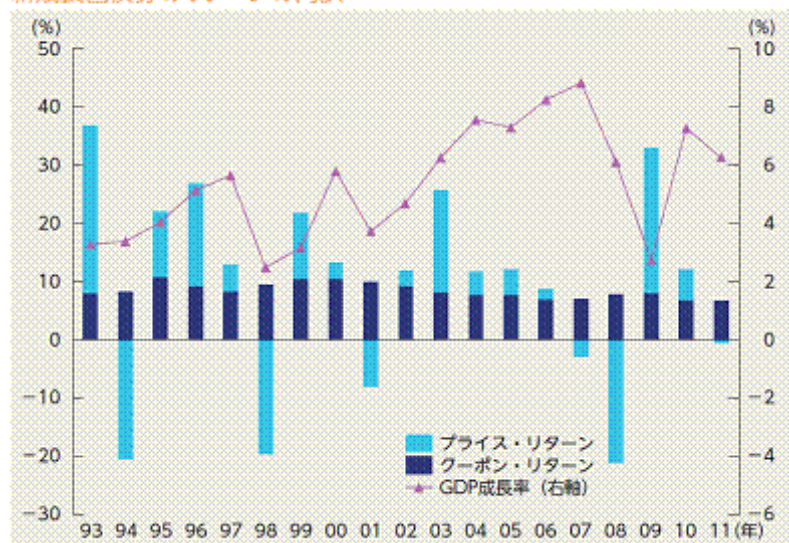
※左記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。左記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。ファンダメンタルズ面の改善傾向は、信用力を向上させますが、かならずしも格上げされるとは限りません。

＜新成長国債券投資の特徴＞

新成長国債券への投資は、過去において、相対的に高い利回り水準に基づく安定したクーポン・リターン（債券の利息収入）と、主に経済成長などに伴う信用力の向上によるプライス・リターン（債券価格の値上がり益）を合わせたトータル・リターンで構成されています。

新成長国の経済成長等に伴い信用力が改善する局面では、債券価格が上昇する傾向があり、債券価格の値上がり益も追求できます。一方で、経済危機等の場合には、債券価格は大幅に下落することもあります。

新成長国債券のリターンの内訳



期間：1993年～2011年

出所：パークレイズ、国際通貨基金（IMF）

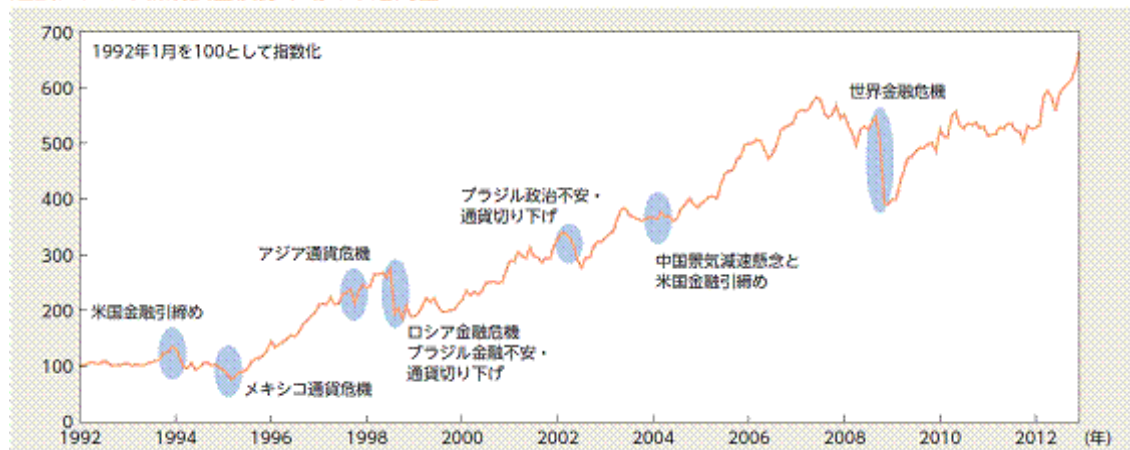
新成長国債券：パークレイズ・グローバル・エマージング・ボンド・インデックス（米ドル・ベース）

※上記インデックスは、本ファンドの参考指標ではありません。クーポン・リターンは相対的に安定していますが、プライス・リターンはマイナスになる場合もありますので、トータル・リターンはマイナスになる場合もあります。

＜新成長国債券投資のリスク＞

過去において、いくつかの経済危機が新成長国において発生しました。こうした経済危機の際には、大きく下落した局面がありました。また、米国をはじめとした先進国の経済動向にも大きく影響を受ける側面もあります。直近では、サブプライムローン問題に端を発した世界金融危機により、1992年以降最大の下落を経験しました。

過去における新成長国債券市場の下落局面



期間：1992年1月～2012年11月 出所：JPモルガン

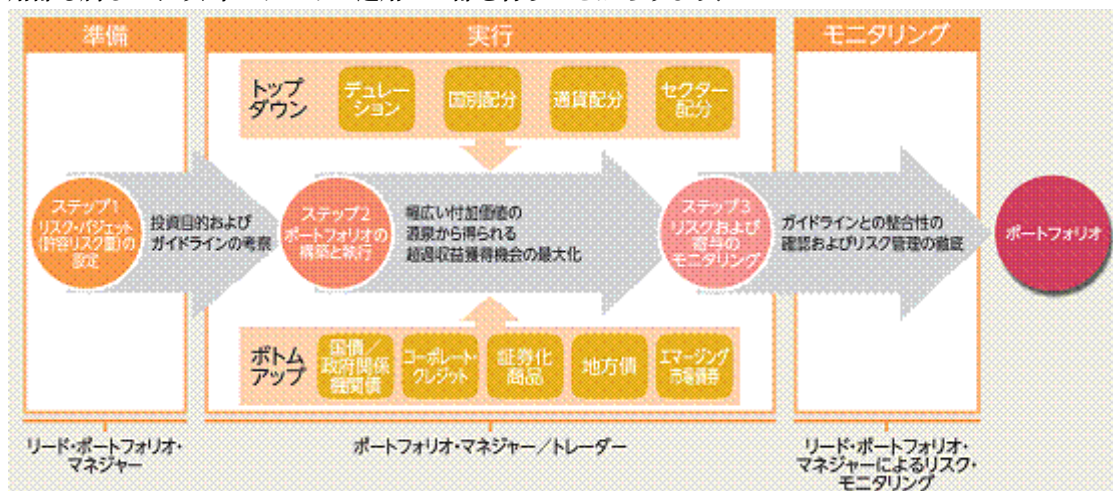
新成長国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス（円換算ベース）（期間：1992年1月～1993年12月）

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル（円換算ベース）（期間：1994年1月～2012年11月）

※上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。信託報酬等の諸費用や、流動性等の市場要因は考慮されておりませんのでご注意ください。

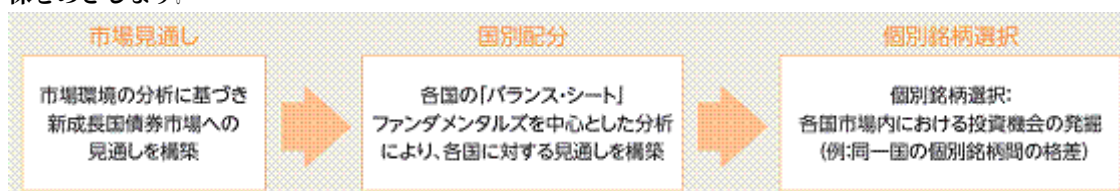
<ファンドの運用>

本ファンドの運用は、GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールに属する「グローバル債券・通貨運用グループ」によって行われます。同グループは世界各地に運用拠点を展開し、幅広い調査能力ならびに専門性を活用した運用を行っています。なお、「グローバル債券・通貨運用グループ」には委託会社の債券通貨運用部も属しており、本ファンドの運用の一部を行うことがあります。



※本運用プロセスがその目的を達成できる保証はありません。また本運用プロセスは変更される場合があります。

本ファンドでは、以下の3つの運用プロセスに沿った運用を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。



※新成長国における有事（経済危機、政治不安、戦争等）の際には、上記のような運用ができない場合があります。

(2) 【ファンドの沿革】

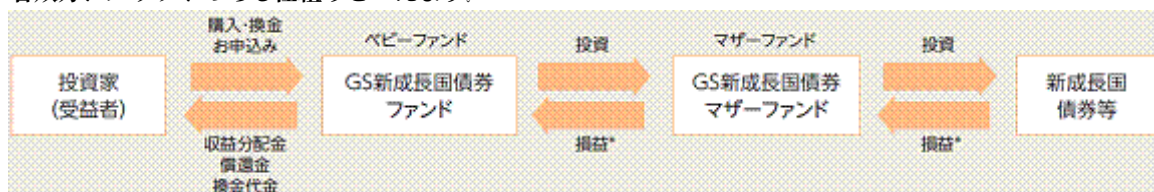
本ファンドの信託設定日は2005年6月2日であり、同日より運用を開始しました。

マザーファンドの信託設定日は2005年6月2日であり、同日より運用を開始しました。

(3) 【ファンドの仕組み】

1. ファンドの仕組み

本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。ファミリーファンド方式とは、投資家からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を実質的に同一の運用方針を有するマザーファンドに投資して、実質的な運用を行う仕組みです。ただし、ベビーファンドから有価証券等に直接投資することもあります。商品性格が等しい複数のファンドが存在する場合、これらをひとつにまとめることで、低コストで効率よく運用することが可能になるため、投資家、運用者双方にメリットのある仕組みといえます。



*損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

2. ファンドの関係法人

① 委託会社および本ファンドの関係法人の名称および関係業務

a. 委託会社（ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社）

本ファンドの委託者として、ファンドに集まったお金（信託財産といいます。）の運用指図等を行います。本ファンドの運営の仕組みは下記の「ファンド関係法人」の図に示すとおりです。

ただし、本ファンドおよびマザーファンドにおいては、委託会社は債券および通貨の運用（デリバティブ取引等にかかる運用を含みます。）の指図に関する権限をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルおよびゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイーに委託します。

なお、委託会社は、信託財産の計算その他本ファンドの事務管理に関する業務を第三者に委託することがあります。

b. 投資顧問会社

(a) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー

(b) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル

(c) ゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイー

本ファンドおよびマザーファンドの投資顧問会社として、委託会社との間の基本会社間投資顧問契約（以下「投資顧問契約」といいます。）に基づき、委託会社より債券および通貨の運用（デリバティブ取引等にかかる運用を含みます。）の指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注等を行います。

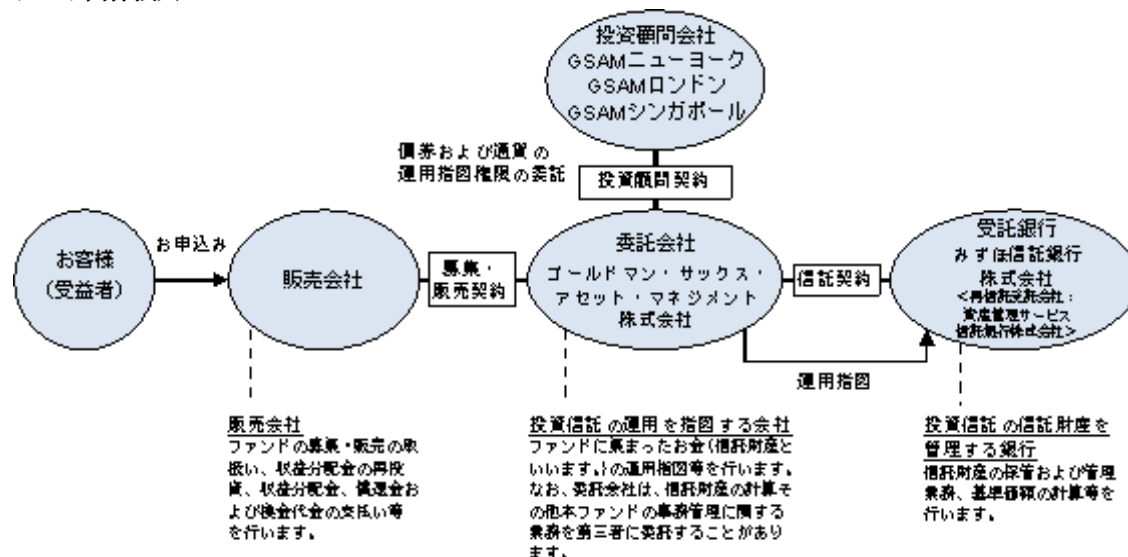
c. 受託会社（みずほ信託銀行株式会社（以下「受託銀行」といいます。））

本ファンドの受託者として、委託会社との間の信託契約に基づき、信託財産の保管および管理業務、基準価額の計算等を行います。なお、上記業務の一部につき再信託先である資産管理サービス信託銀行株式会社に委託することができます。

d. 販売会社

本ファンドの販売会社として、委託会社との間の証券投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約書（以下「募集・販売契約」といいます。）に基づき、ファンドの募集・販売の取扱い、収益分配金の再投資、収益分配金、償還金および換金代金の支払い等を行います。

ファンド関係法人



＜ご参考＞ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（GSAM）とは

ゴールドマン・サックスは、1869年（明治2年）創立の世界有数の金融グループのひとつであり、世界の主要都市に拠点を有し、世界中の政府機関・企業・金融機関等に対して、投資銀行業務・証券売買業務・為替商品取引・資産運用業務など、多岐にわたる金融サービスを提供しています。

ゴールドマン・サックスの資産運用グループであるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（GSAM）は、1988年の設立以来、世界各国の投資家に資産運用サービスを提供しており、2012年6月末現在、グループ全体で7,161億米ドル（約56.8兆円*）の資産を運用しています。

*米ドルの円貨換算は便宜上、2012年6月29日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝79.31円）により、計算しております。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの東京拠点です。

② 委託会社等の概況

a. 資本金

委託会社の資本金の額は金4億9,000万円です（本書提出日現在）。

b. 沿革

1996年2月6日 会社設立

2002年4月1日 ゴールドマン・サックス・アセット・マネージメント・ジャパン・リミテッドの営業の全部を譲受け、商号をゴールドマン・サックス投信株式会社からゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社に変更

c. 大株主の状況

（本書提出日現在）

氏名または名称	住所	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国ニューヨーク州 ニューヨーク市ウェスト・ストリート 200番地	6,336	99
ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク	アメリカ合衆国ニューヨーク州 ニューヨーク市ウェスト・ストリート 200番地	64	1

2【投資方針】

（１）【投資方針】

a. 基本方針

本ファンドは、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

b. 本ファンドの運用方針

主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入れ比率を高位に保ちます（ただし、投資環境等により、当該受益証券の組入れ比率を引き下げる場合もあります。）。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

c. マザーファンドの運用方針

- ① 主として新成長国の政府・政府関係機関が発行する米ドル建ての債券に投資します。投資にあたっては、以下を含む債券に投資することを基本とします。新成長国とは、国内経済が成長過程にあるとゴールドマン・サックスが判断した、いわゆる先進国を除いた国および地域をいいます。
 - ・新成長国の政府・政府関係機関等が発行する債券
 - ・国際機関の発行する債券
 - ・1989年のブレディ提案に基づいて新成長国が発行し、米国市場やユーロ市場等の国際的な市場で流通する債券（ブレディ債）
 - ・社債
 - ・アセットバック証券
 - ・モーゲージ証券
 - ・仕組み債
- ② 米ドル建ての債券を中心に投資を行いますが、その他の新成長国通貨を含むいずれの通貨建ての証券にも投資することができます。なお、米ドル以外の通貨建て証券に関しては、原則として米ドルに為替ヘッジします。
- ③ 投資にあたっては、原則として次の範囲内で行います。
 - ・新成長国単一国への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以内とします。
- ④ 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。
- ⑤ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うことができます。
- ⑥ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、通貨に係る先物取引、通貨に係るオプション取引、金利に係る先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引（以下「有価証券先物取引等」といいます。）を行うことができます。
- ⑦ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取り金利または異なった受取り金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことができます。
- ⑧ ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルおよびゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイーに債券および通貨の運用の指図に関する権限（デリバティブ取引等にかかる運用の指図を含みます。）を委託します。
- ⑨ 市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

なお、本ファンドおよびマザーファンドでは、運用の効率化を図るため、関連会社に運用の指図にかかる権限を以下の通り委託します。

委託先の名称	委託先の所在地	委託の内容	委託にかかる費用
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー (G S A Mニューヨーク)	アメリカ合衆国 ニューヨーク州 ニューヨーク市	本ファンドおよびマザーファンドの債券および通貨の運用（デリバティブ取引等にかかる運用を含みます。）	別に定める取り決めに基づく金額が委託会社から原則として毎月支払われるものとし、信託財産からの直接的な支弁は行いません。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル (G S A Mロンドン)	英国ロンドン市	同上	同上
ゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイー (G S A Mシンガポール)	シンガポール	同上	同上

（２）【投資対象】

（a）投資の対象とする資産の種類（信託約款第20条）

本ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

１．次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託法第２条第１項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第２条第20項に規定するものをいい、信託約款第30条、第31条および第32条に定めるものに限りします。）

ハ．金銭債権

ニ．約束手形（金融商品取引法第２条第１項第15号に掲げるものを除きます。）

２．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

（b）投資対象有価証券（信託約款第21条第１項）

委託会社（委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受けたG S A Mニューヨーク、G S A MロンドンおよびG S A Mシンガポールを含みます。以下、関連する限度において同じ。）は、信託金を、主としてマザーファンドの受益証券および次の有価証券（金融商品取引法第２条第２項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

１．株券または新株引受権証書

２．国債証券

３．地方債証券

４．特別の法律により法人の発行する債券

５．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

６．資産の流動化に関する法律に規定する特定社債券（金融商品取引法第２条第１項第４号で定めるものをいいます。）

７．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第２条第１項第６号で定めるものをいいます。）

８．協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第２条第１項第７号で定めるものをいいます。）

９．資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第２条第１項第８号で定めるものをいいます。）

10．コマーシャル・ペーパー

11．新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券

12．外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの

13．投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第２条第１項第10号で定めるものをいいます。）

14．投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第２条第１項第11号で定めるものをいいます。）

15．外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第２条第１項第18号で定めるものをいいます。）

16. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
17. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
20. 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの
21. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
22. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）

なお、1. の証券または証書、12. の証券または証書のうち1. の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、2. から6. までの証券および12. の証券または証書のうち2. から6. までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、13. の証券および14. の証券を以下「投資信託証券」といいます。

(c) 有価証券以外の投資対象（信託約款第21条第2項および第3項）

委託会社は、信託金を、上記(b)に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

上記(b)の規定にかかわらず、本ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、上記1. ないし6. に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

(d) その他の取引の指図

委託会社は、以下の取引の指図をすることができます。

1. 信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすること。なお、当該売付の決済については、株券の引き渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
2. 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産において有さない有価証券または借り入れた有価証券を売り付けることの指図をすること。なお、当該売付の決済については、売り付けた有価証券の引き渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
3. 信託財産の効率的な運用に資するため、有価証券の借入れの指図をすること。
4. 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）ならびに外国の取引所等におけるこれらの取引と類似の取引（なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。）、わが国の取引所等における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所等における通貨にかかる先物取引およびオプション取引、ならびにわが国の取引所等における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすること。
5. 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取り金利または異なった受取り金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすること。スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
6. 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすること。金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
7. 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債につき貸付の指図をすること。
8. 信託財産の効率的な運用に資するため、ならびに信託財産に属する外貨建資産の額とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額との合計額についての為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約取引を指図すること。

なお、委託会社は、信託財産の効率的な運用および運用の安定性をはかるため、信託財産における特定の資産につき、有価証券の借入れ、スワップ取引、金利先渡取引、為替先渡取引、為替予約取引、資金の借入れその他の取引により信託財産の負担する債務を担保するため、日本法または外国法に基づく担保権の設定（現金を預託して相殺権を与えることを含みます。）の指図をすることができ、また、これに伴い適用法上当該担保権の効力を発生させ、または対抗要件を具備するために必要となる契約の締結、登記、登録、引渡しその他一切の行為を行うことの指図をすることができます。

担保権の設定に要する費用は、受益者の負担とし、信託財産中より支弁します。

＊「信託財産に属する資産」とは、信託財産に属する各資産の額とマザーファンドの信託財産に属する各資産のうち信託財産に属するとみなした額との合計額を意味します。

本書において「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日（以下「決済日」といいます。）における決済日から一定の期間を経過した日（以下「満期日」といいます。）までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率（以下「指標利率」といいます。）の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

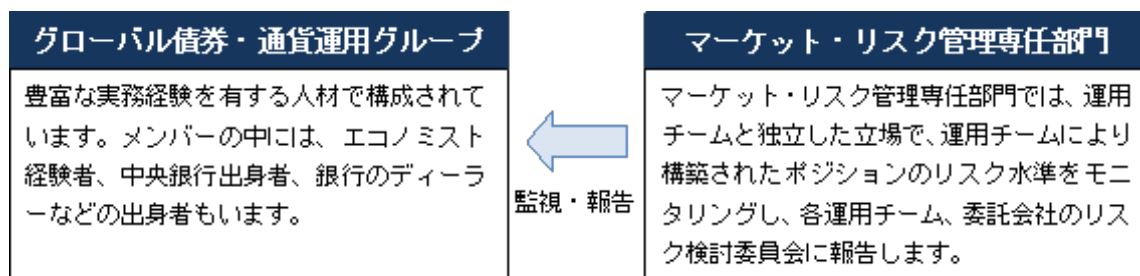
本書において「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引（同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。以下同じ。）のスワップ幅（当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。以下同じ。）を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

（３）【運用体制】

a. 組織

本ファンドの運用は、GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールに属する「グローバル債券・通貨運用グループ」によって行われます。同グループは世界各地に運用拠点を展開し、幅広い調査能力ならびに専門性を活用した運用を行っています。なお、「グローバル債券・通貨運用グループ」には委託会社の債券通貨運用部も属しており、本ファンドの運用の一部を行うことがあります。

また、運用チームとは独立したマーケット・リスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。



（注1） リスク管理とは、ポートフォリオのリスクを監視し、一定水準に管理することを目指したものであり、必ずしもリスクの低減を目的とするものではありません。

（注2） 上記運用体制およびリスク管理体制は、将来変更される場合があります。

b. 運用体制に関する社内規則等

ファンドの運用に関する社内規則として、ポートフォリオ・マネジャーが遵守すべき服務規程のほか、有価証券などの売買執行基準およびその遵守手続きなどに関して取扱い基準を設けることにより、法令遵守の徹底を図るとともに、利益相反となる取引、インサイダー取引等を防止し、かつ売買執行においては最良執行に努めています（運用の全部または一部を海外に外部委託する場合は、現地の法令および諸規則にもあわせて従うこととなります。）。

c. 内部管理体制

委託会社は、リスク検討委員会を設置しています。リスク検討委員会は、法務部、コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

（４）【配分方針】

2005年7月19日以降、毎月決算を行い、毎計算期末（毎月17日、ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、利息等収益を中心に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - ② 分配金額は、委託会社が収益分配方針に従って、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本を下回る場合においても分配を行うことがあります。
 - ③ 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、元本部分と同様に運用の基本方針に基づき運用を行います。
- ※ 一般コースの場合、収益分配金は、原則として計算期間終了日から起算して5営業日までに販売会社を通じて支払いを開始します。
- ※ 自動けいぞく投資コースの場合、収益分配金は、税金を差引いた後、各計算期間終了日の基準価額により無手数料で全額自動的に再投資されます。
- ※ 自動けいぞく投資コースの場合で、収益分配金の受取りをご希望の方は、販売会社によっては再投資を中止することを申出することができます。詳しくは販売会社までお問い合わせください。



※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

＜収益分配金に関わる留意点＞

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

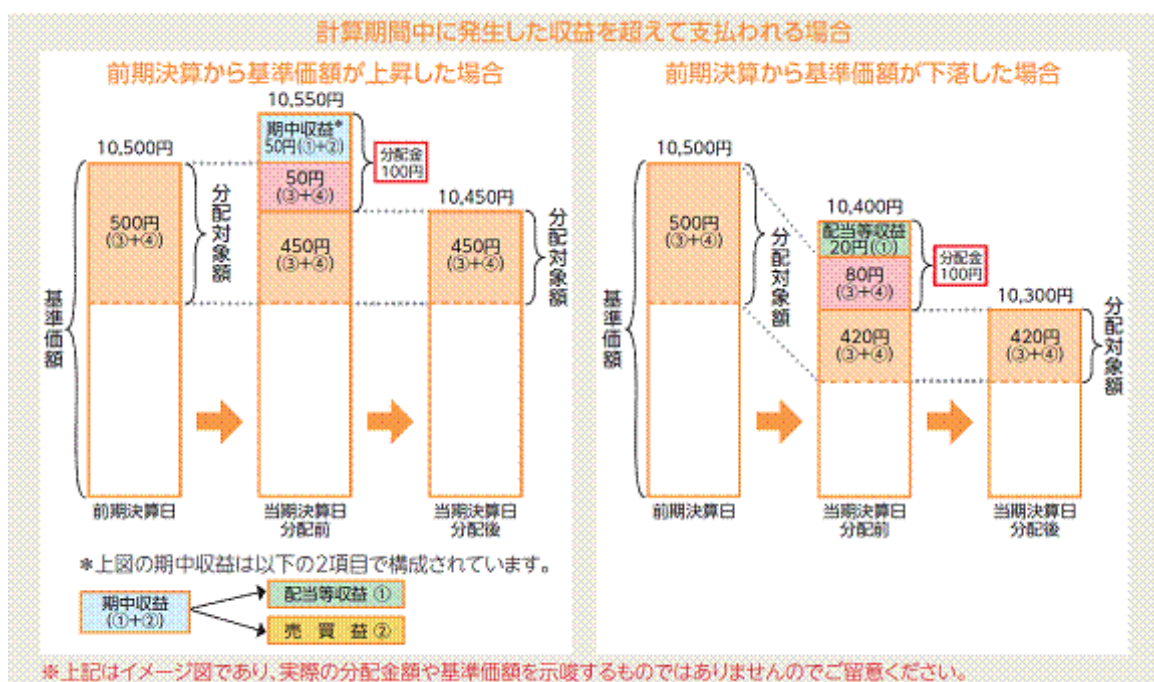
投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金（当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益）④収益調整金（信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分）です。



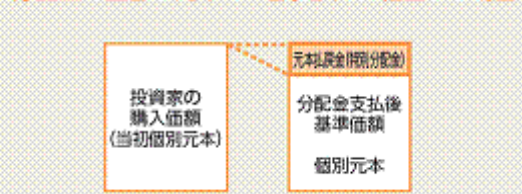
上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動等に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がり、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。元本の一部払戻しに該当する部分は、元本払戻金（特別分配金）として非課税の扱いになります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（投資家のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

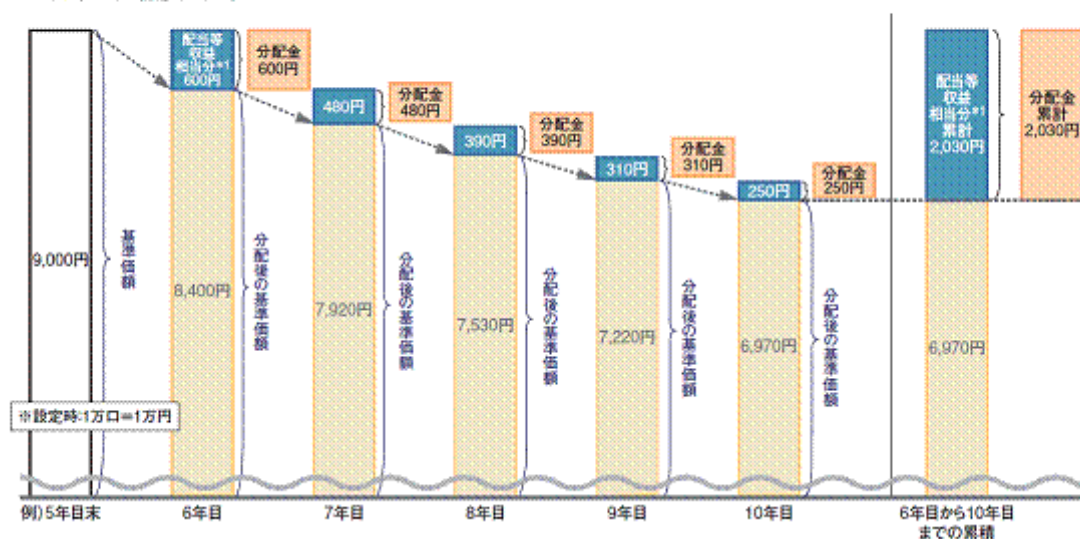
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資家の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、後記「第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取扱い」をご覧ください。

数年間にわたって基準価額が下落した場合

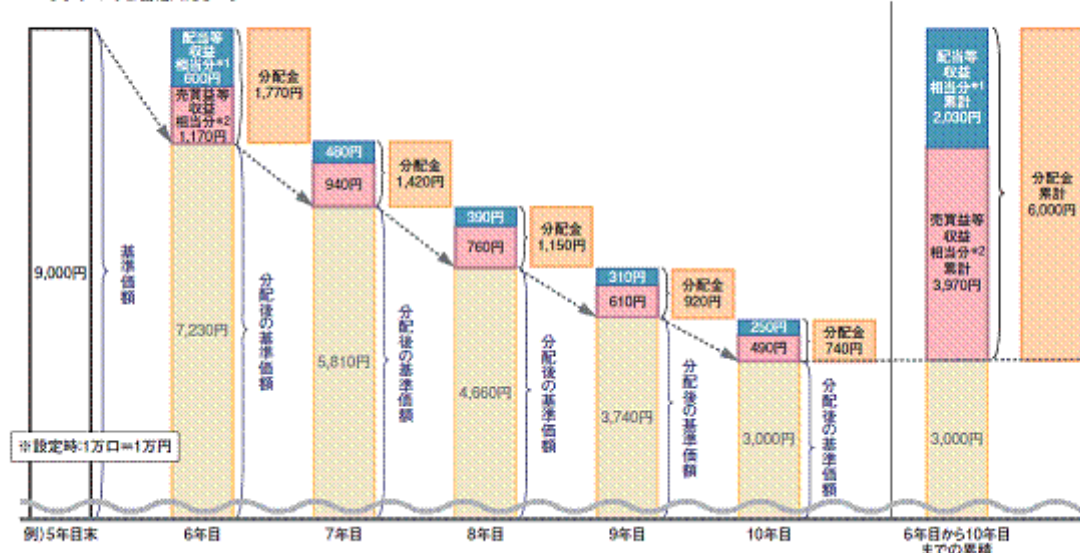
①配当等収益を中心に分配する場合 ※年間のリターン(税引前分配金込み)が0%と仮定

※この図では、年間のリターンを一定と仮定していますが、実際の基準価額は市場変動等により大きく下落することがあり、また、分配金額等は変動しますのでご注意ください。



②配当等収益に加え、売買益(評価益を含みます。)も分配する場合 ※年間のリターン(税引前分配金込み)が0%と仮定

※この図では、年間のリターンを一定と仮定していますが、実際の基準価額は市場変動等により大きく下落することがあり、また、分配金額等は変動しますのでご注意ください。



- *1 配当等収益相当分には分配準備積立金(当該期間よりも前に累積した配当等収益および売買益等収益)のうち配当等収益を含む場合があります。
- *2 売買益等収益相当分には分配準備積立金(当該期間よりも前に累積した配当等収益および売買益等収益)のうち売買益等収益および収益調整金を含む場合があります。
- (注)上図はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

収益分配金は必ずしも当該計算期間中に得た収益から支払われるわけではなく、決算時点での基準価額の水準に関わらず過去に得た収益から支払われる場合があります。

上図は①配当等収益を中心に分配した場合と、②配当等収益に加えて売買益等収益も分配した場合の基準価額の変動を示しています。例えば、①の6年目では1年間に得た配当等収益を中心に分配を支払ったため、その分基準価額が下落しています。一方、②では配当等収益に加えて売買益等収益相当分を分配したため、①と比較するとその分さらに基準価額が下落しています。②の6年目から10年目までに受益者は合計で6,000円分(配当等収益相当分2,030円+売買益等収益相当分3,970円)の収益分配を受領し、基準価額は3,000円になっています。上図の例において、売買益等収益を支払わなかった場合、累計でみた分配落ち後の基準価額は6,970円(3,000円+3,970円)になります。

配当等収益相当分
売買益等収益相当分
分配金
分配後の基準価額

（５）【投資制限】

本ファンドは、以下の投資制限に従います。

（a）信託約款の「運用の基本方針」に定める投資制限

- ① 外貨建資産の組入れについては制限を設けません。
- ② デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
- ③ 株式への投資は転換社債を転換、新株引受権を行使および新株予約権（会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしている新株予約権付社債（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限りま
- す。）を行使したものに限り、株式への実質投資割合は、信託財産の10%以下とします。
- ④ 同一銘柄の債券への実質投資割合は、信託財産の5%以下とします。ただし、国債、政府関係機関債（委託会社またはその運用の外部委託先が政府関係機関債券と同等の信用度を有するとみなす債券を含みます。）および短期金融商品についてはかかる上限は適用されないものとします。
- ⑤ 同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の3%以下とします。
- ⑥ 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において信託財産の3%以下とします。
- ⑦ 同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債への実質投資割合は、取得時において信託財産の3%以下とします。
- ⑧ 投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の5%以下とします。
- ⑨ 新成長国の現地通貨建資産への実質投資割合は、信託財産の30%以下とします。

「実質投資割合」とは、投資対象である有価証券につき、本ファンドの信託財産に属する当該有価証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該有価証券のうち本ファンドの信託財産に属するとみなした額との合計額の本ファンドの信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。

（b）信託約款上のその他の投資制限

1. 株式等への投資制限（信託約款第21条第6項）

委託会社は、信託財産に属する株式、新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式、新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

2. 投資する株式等の範囲（信託約款第25条）

委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。

上記にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図することができるものとします。

3. 信用取引の指図および範囲（信託約款第27条）

信用取引により株券を売り付けることの指図は、当該売付にかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内である場合においてできるものとします。

信託財産の一部解約等の事由により上記の売付にかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

4. 有価証券の空売りの指図および範囲（信託約款第28条）

信託財産において有さない有価証券または借り入れた有価証券を売り付けることの指図は、当該売付にかかる有価証券の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内である場合においてできるものとします。

信託財産の一部解約等の事由により、上記の売付にかかる有価証券の時価の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。

5. 有価証券の借入れの指図および範囲（信託約款第29条）

有価証券の借入れの指図は、当該借入れにかかる有価証券の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内である場合においてできるものとします。

信託財産の一部解約等の事由により、上記の借入れにかかる有価証券の時価の総額が信託財産の純資産総額を超

えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた有価証券の一部を決済するための指図をするものとします。

上記の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。

6. 先物取引等の運用指図（信託約款第30条）

委託会社は、以下の指図を行うことができます。

- ・わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の取引所等におけるこれらの取引と類似の取引（選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ））
- ・わが国の取引所等における通貨に係る先物取引ならびに外国の取引所等における通貨に係る先物取引およびオプション取引
- ・わが国の取引所等における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所等におけるこれらの取引と類似の取引

7. スワップ取引の運用指図（信託約款第31条）

スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として本ファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。

委託会社は、スワップ取引を行うにあたり必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

8. 金利先渡し取引および為替先渡し取引の運用指図（信託約款第32条）

金利先渡し取引および為替先渡し取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として本ファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

金利先渡し取引および為替先渡し取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。

委託会社は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うにあたり必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

9. 有価証券の貸付の指図および範囲（信託約款第34条）

株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。

公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

上記に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

10. 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（信託約款第35条）

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

11. 外国為替予約の運用指図（信託約款第36条）

委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、ならびに信託財産に属する外貨建資産の額とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額との合計額についての為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

かかる予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の額とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額との合計額の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。かかる限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの時価相当額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

12. 資金の借入れ（信託約款第43条）

委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、信託財産において一部解約金の支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができ、また法令上可能な限度において融資枠の設定を受けることを指図することができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までが5営業日以内である場合のその期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。

収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

借入金の利息および融資枠の設定に要する費用は信託財産中より支弁します。

(c) その他の法令上の投資制限

委託会社は、運用財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該運用財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券又はオプションを表示する証券若しくは証書に係る取引及び選択権付債券売買を含みます。）を行い、又は継続することを内容とした運用を行うことを受託銀行に指示することはできません（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）。

3【投資リスク】

(1) 投資リスク

本ファンドへの投資には、一定のリスクを伴います。本ファンドの購入申込者は、以下に掲げる本ファンドに関するリスクおよび留意点を十分にご検討いただく必要があります。なお、以下に記載するリスクおよび留意点は、本ファンドに関わるすべてのリスクおよび留意点を完全に網羅しないことにつき、ご注意ください。

(a) 元本変動リスク

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。主なリスクとして以下のものがあげられます。

1. 新成長国債券投資に伴うリスク

一般に新成長国は、先進国と比較し以下のものを含むリスクがあると考えられます。

- ①社会・政治体制・経済の安定性の欠如
- ②専制政治
- ③軍の政治・経済への介入
- ④クーデター、内乱
- ⑤社会的騒乱
- ⑥隣国との関係の悪化
- ⑦民族紛争、宗教紛争、人種的対立
- ⑧財産権の不十分な保護、財産の没収・国有化
- ⑨市場が小規模であることによる非流動性
- ⑩証券の保管に関する制限
- ⑪財務・会計情報の入手が困難であることによる投資判断の困難性
- ⑫決済システムの未発達・未整備
- ⑬相対的に高い為替変動リスク

このような投資環境にあるため、発行国における有事等（経済危機、政治不安、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、戦争など）の際には、本来想定している運用ができない場合も考えられ、その結果、本ファンドの資産価値に大きな影響を与える可能性があります。本ファンドが投資対象とする新成長国債券は、先進国が発行する債券と比較して高いリスクを有しているといえます。

本ファンドが投資対象とする新成長国の市場は、一般的に流動性が低く、市場環境やその国の政治状況によってはアジア通貨危機で見られたように投資資金を日本円に戻すのに日数がかかる場合があります。その結果、解約代金の支払日が一部解約申込日から起算して5営業日を超える場合があります。また、大量の解約申込があり信託財産中の流動性の高い証券を売却するだけでは解約代金を捻出しきれないような場合など、状況によっては、解約のお申込みを受付けない場合もあります。

2. 債券の価格変動リスク

債券の市場価格は、金利が上昇すると下落し、金利が低下すると上昇します。

金利の変動による債券価格の変化の度合い（リスク）は、債券の満期までの期間が長ければ長いほど、大きくなる傾向があります。

3. 債券の信用リスク

債券への投資に際しては、債券の発行体により利息や元本の支払いがなされない、もしくは滞ること等（これを債務不履行といいます。）の信用リスクを伴います。一般に、発行体の信用度は第三者機関による格付けで表されますが、格付けが低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。発行体の債務不履行が生じた場合、債券価格は大きく下落する傾向があるほか、投資した資金を回収できないことがあります。

一般的に、新成長国債券は、先進国が発行する債券よりも、債務不履行の可能性は高く、価格変動幅も大きいと考えられます。

4. 為替リスク

本ファンドは外貨建ての債券を主要な投資対象とし、実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。したがって、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。

為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。為替レートは一般に、外国為替市場の需給、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他の様々な国際的要因により決定されます。また、為替レートは、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

本ファンドでは、米ドル建て債券以外にも新成長国の自国通貨建て債券に投資することがあるため、先進国の通貨建て債券と比較して、相対的に高い為替変動リスクを有することがあります。

5. 取引先に関するリスク

有価証券の貸付、為替取引、スワップ取引、先物取引、余資運用等において、相手先の決済不履行リスクやの信用リスクが伴います。

6. デリバティブ取引のリスク

本ファンドは債券関連のデリバティブに投資することがあります。デリバティブの運用には、他の運用手法に比べてより大きく価格が変動する可能性、流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。これらの運用手法は、ヘッジ目的に限らず、投資収益を上げる目的でも用いられることがあります。実際の価格変動が委託会社や投資顧問会社の見通しと異なった場合には、本ファンドが損失を被るリスクを伴います。

7. 市場の閉鎖等に伴うリスク

金融商品市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化もしくは政策の変更等の諸事情により閉鎖されることがあります。これにより本ファンドの運用が影響を被り、基準価額の下落につながる可能性があります。

(b) 解約申込みに伴う基準価額の下落に関わる留意点

短期間に相当金額の解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入有価証券を市場実勢より大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。また、解約資金を手当てするため、資金借入れの指図を行った場合、当該借入金の利息は信託財産から支払われます。

(c) 資産規模に関わる留意点

本ファンドの資産規模によっては、本書で説明するような投資が効率的にできない場合があります。その場合には、適切な資産規模の場合と比較して収益性が劣る可能性があります。

(d) ファミリーファンド方式に関わる留意点

本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、本ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等に伴う資金変動等があり、その結果、マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額に影響が及ぶ可能性があります。

(e) 繰上償還に関わる留意点

本ファンドは、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合等には、受託銀行と協議のうえ、必要な手続を経て、繰上償還されることがあります。また、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、または正当な理由があるときは、受託銀行と合意のうえ、必要な手続を経て、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。繰上償還された場合には、申込手数料は返還されません。

(f) 法令・税制・会計等の変更可能性に関わる留意点

法令・税制・会計等は変更される可能性があります。

(g) その他の留意点

収益分配金、一部解約金、償還金の支払いはすべて販売会社を通じて行われます。それぞれの場合においてその金額が販売会社に対して支払われた後は、委託会社は受益者への支払いについての責任を負いません。

委託会社は、販売会社とは別法人であり、委託会社は設定・運用について、販売会社は販売（お買付代金の預り等を含みます。）について、それぞれ責任を有し、互いに他について責任を有しません。

(2) 投資リスクに対する管理体制

運用チームとは独立したマーケット・リスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームと独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、委託会社のリスク検討委員会に報告します。

リスク検討委員会は、法務部、コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

（注1） リスク管理とは、ポートフォリオのリスクを監視し、一定水準に管理することを目指したものであり、必ずしもリスクの低減を目的とするものではありません。

（注2） 上記リスク管理体制は、将来変更される場合があります。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

- (a) 3.15%（税込）を上限として販売会社がそれぞれ定める申込手数料率を取得申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額が申込手数料となります。詳しくは、販売会社または下記の照会先までお問い合わせください。申込手数料は、お申込時にご負担いただきます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

電話：03（6437）6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp

- (b) 自動けいぞく投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合には、取得する口数について申込手数料はかかりません。

（２）【換金（解約）手数料】

換金（解約）請求には手数料はかかりません。

（３）【信託報酬等】

以下の支払先が行う本ファンドに関する業務の対価として本ファンドから支払われる信託報酬は、本ファンドの信託財産の計算期間を通じて毎日、本ファンドの信託財産の純資産総額に年率1.5225%（税込）を乗じて得た額とします。委託会社、受託銀行および販売会社間の配分については以下のとおりとします。なお、販売会社の間における配分については販売会社の取扱いにかかる純資産総額に応じて決められます。

本ファンドの信託財産の 純資産総額	委託会社	販売会社	受託銀行
100億円以下の部分	年率0.7350%（税込）	年率0.6825%（税込）	年率0.1050%（税込）
100億円超300億円以下の部分	年率0.7350%（税込）	年率0.7035%（税込）	年率0.0840%（税込）
300億円超500億円以下の部分	年率0.7350%（税込）	年率0.7245%（税込）	年率0.0630%（税込）
500億円超の部分	年率0.7350%（税込）	年率0.7350%（税込）	年率0.0525%（税込）

なお、委託会社の報酬には、GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の信託財産からの直接的な支払いは行いません。

信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。委託会社および販売会社の報酬は本ファンドから委託会社に対して支払われ、販売会社の報酬は委託会社より販売会社に対して支払われます。受託銀行の報酬は本ファンドから受託銀行に対して支払われます。

（４）【その他の手数料等】

本ファンドから支払われる費用には以下のものがあります（ただし、これらに限定されるものではありません。）。

- (a) 株式等の売買委託手数料、先物取引やオプション取引等に要する費用
- (b) 外貨建資産の保管費用
- (c) 借入金の利息、受託銀行等の立替えた立替金の利息
- (d) 信託財産に関する租税
- (e) その他信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用等を含みます。また、マザーファンドに関連して生じた諸費用のうちマザーファンドにおいて負担せずかつ委託会社の合理的判断により本ファンドに関連して生じたと認めるものを含みます。）

上記(a)から(d)記載の費用・税金については、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。また、委託会社は、上記(e)記載の諸費用の支払いを信託財産のために行い、その金額をあらかじめ合理的に見積もったうえで、信託財産の純資産総額の年率0.05%相当額を、かかる諸費用の合計額とみなして、本ファンドより受領します。ただし、委託会社は、信託財産の規模等を考慮して、信託の設定時または期中に、随時かかる諸費用の年率を見直し、0.05%を上限としてこれを変更することができます。

上記(e)記載の諸費用の額は、本ファンドの計算期間を通じて毎日、前営業日の信託財産の純資産総額に応じて計上されます。かかる諸費用は、毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

(5) 【課税上の取扱い】

収益分配時・換金時・償還時に受益者が負担する税金は本書提出日現在、以下のとおりです。ただし、税法が改正された場合には、下記の内容が変更になることがあります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

個人の受益者の場合^{*1}

時期	項目	税金
収益分配時	所得税および地方税	普通分配金×10.147% ^{*2}
換金時 (解約請求による場合)	所得税および地方税	譲渡益×10.147% ^{*2}
償還時	所得税および地方税	譲渡益×10.147% ^{*2}

*1 法人の受益者の場合については、後記「収益分配金の課税について」「換金時および償還時の課税について」をご覧ください。

*2 2014年1月1日以降は、20.315%（所得税15.315%、地方税5%）となる予定です。詳しくは、後記「収益分配金の課税について」「換金時および償還時の課税について」をご覧ください。

上記のほか、申込手数料に対する消費税等相当額をご負担いただきます。

元本払戻金（特別分配金）は投資元本の一部払戻しとみなされ、非課税扱いとなります。

なお、外国での組入有価証券の取引には、当該外国において税金または費用が課せられることがあります。また、信託報酬および売買委託手数料その他信託財産から支払われる費用等について消費税等が課せられる場合には、当該消費税等相当額は信託財産により負担されます。

本ファンドは、課税上、株式投資信託として取扱われます。

<個別元本について>

- ① 個別元本とは、追加型株式投資信託について、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）をいい、税法上の元本（個別元本）にあたります。
- ② 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- ③ ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合は当該支店等毎に、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の両コースで取得する場合はコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。
- ④ 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の<収益分配金の課税について>をご覧ください。）

<収益分配金の課税について>

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、①当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、②当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

① 個人の受益者に対する課税

個人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、原則として20%（所得税15%、地方税5%）の税率による源泉分離課税が行われ、確定申告は不要です。しかしながら、確定申告により、総合課税（配当控除の適用なし）または申告分離課税のいずれかを選択することもできます。

なお、以下の期間においては適用される税率が異なります。

・2013年1月1日以後：10.147%（所得税7.147%、地方税3%）

・2014年1月1日以後2037年12月31日まで：20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。収益分配金について上場株式等の配当等として確定申告を行う場合（申告分離課税を選択した場合に限ります。）、上場株式等の譲渡による損失（公募株式投資信託の買取差損・解約（償還）差損を含みます。）との損益通算が可能です。

② 法人の受益者に対する課税

法人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、原則として15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。

なお、以下の期間においては適用される税率が異なります。

・2013年1月1日以後：7.147%（所得税7.147%）

・2014年1月1日以後2037年12月31日まで：15.315%（所得税15.315%）

所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。なお、益金不算入制度は適用されません。

<換金時および償還時の課税について>

① 個人の受益者に対する課税

換金時および償還時の譲渡益が課税対象となり、原則として20%（所得税15%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

なお、以下の期間においては適用される税率が異なります。

・2013年1月1日以後：10.147%（所得税7.147%、地方税3%）

・2014年1月1日以後2037年12月31日まで：20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

譲渡益が発生し課税される場合は、源泉徴収選択口座を用いなければ、源泉徴収は行われず、確定申告が必要となります。また、買取差損益および解約（償還）差損益を含めて上場株式等の譲渡損が発生した場合は、確定申告を行うことにより、上場株式等の配当等（申告分離課税を選択した場合に限ります。）との損益通算が可能です。

② 法人の受益者に対する課税

換金時および償還時の個別元本超過額については、原則として15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。

なお、以下の期間においては適用される税率が異なります。

・2013年1月1日以後：7.147%（所得税7.147%）

・2014年1月1日以後2037年12月31日まで：15.315%（所得税15.315%）

5【運用状況】**（１）【投資状況】**

(2012年11月30日現在)

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	—	14,222,566,985	100.05
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	△6,642,007	△0.05
合計(純資産総額)	—	14,215,924,978	100.00

（注） 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

参考情報

＜G S新成長国債券マザーファンド＞

(2012年11月30日現在)

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	マレーシア	54,026,255	0.37
	フィリピン	599,979,682	4.12
	インドネシア	846,062,445	5.81
	アルゼンチン	209,821,054	1.44
	メキシコ	950,161,991	6.52
	ブラジル	122,490,192	0.84
	チリ	182,920,247	1.26
	韓国	131,310,941	0.90
	トルコ	697,930,694	4.79
	エジプト	87,236,076	0.60
	ガーナ	46,174,023	0.32
	コロンビア	595,009,287	4.09
	ハンガリー	113,200,583	0.78
	パキスタン	73,579,520	0.51
	ペルー	336,233,359	2.31
	スリランカ	58,274,405	0.40
	ウルグアイ	222,599,642	1.53
	ベネズエラ	503,999,592	3.46
	ロシア	367,227,568	2.52
	ドミニカ	345,113,406	2.37
	グアテマラ	41,930,472	0.29
	コスタリカ	103,208,416	0.71
	コートジボアール	381,716,343	2.62
	ルーマニア	129,033,539	0.89
	ナイジェリア	118,885,124	0.82
	ベトナム	28,002,920	0.19
	エルサルバドル	49,518,360	0.34
	リトアニア	20,858,480	0.14
	パナマ	397,908,354	2.73
	ウクライナ	327,496,613	2.25
	セルビア	130,968,271	0.90

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
	イラク	153,613,672	1.05
	ベリーズ	12,810,720	0.09
	ガボン共和国	56,579,653	0.39
	ベラルーシ共和国	103,668,082	0.71
	モンゴル国	50,590,605	0.35
	小計	8,650,140,586	59.39
特殊債券	フィリピン	44,451,776	0.31
	メキシコ	200,748,909	1.38
	ブラジル	400,066,063	2.75
	チリ	276,144,437	1.90
	トルコ	30,825,795	0.21
	インド	17,531,470	0.12
	南アフリカ	53,244,555	0.37
	ベネズエラ	257,884,228	1.77
	ロシア	270,958,456	1.86
	カザフスタン	406,291,811	2.79
	ウクライナ	45,248,120	0.31
	小計	2,003,395,620	13.75
社債券	フィリピン	37,015,590	0.25
	インドネシア	78,465,660	0.54
	アルゼンチン	25,099,156	0.17
	メキシコ	104,194,046	0.72
	ブラジル	128,692,741	0.88
	チリ	263,937,080	1.81
	トルコ	240,900,046	1.65
	コロンビア	373,372,951	2.56
	ペルー	79,481,730	0.55
	南アフリカ	85,488,911	0.59
	ベネズエラ	260,728,947	1.79
	ロシア	624,522,600	4.29
	中国	210,516,170	1.45
	ドミニカ	75,644,838	0.52
	グアテマラ	12,502,770	0.09

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
	ジャマイカ	56,298,392	0.39
	クロアチア	32,017,561	0.22
	カタール	84,822,735	0.58
	アゼルバイジャン	53,706,480	0.37
	小計	2,827,408,404	19.41
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	1,084,477,239	7.45
合計(純資産総額)	—	14,565,421,849	100.00

（注） 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

（2012年11月30日現在）

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託受益証券	G S新成長国債 券マザーファン ド	9,018,748,881	1.5436	13,921,342,721	1.5770	14,222,566,985	100.05

種類別及び業種別投資比率（2012年11月30日現在）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	100.05
合計	100.05

（注） 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

②【投資不動産物件】

（2012年11月30日現在）

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

（2012年11月30日現在）

該当事項はありません。

参考情報

<G S新成長国債マザーファンド>

① 投資有価証券の主要銘柄

(2012年11月30日現在)

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量 (券面総額)	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	インドネシア	国債証券	INDONESIA REP 7.75%	6,767,000	12,379.58	837,726,855	12,502.76	846,062,445	7.75	2038/1/17	5.81
2	フィリピン	国債証券	PHILIPPINES(REP) 9.5%	3,920,000	13,611.39	533,566,488	13,519.41	529,961,091	9.5	2024/10/21	3.64
3	コートジボアール	国債証券	IVORY COAST SINK STEP	5,094,000	7,226.55	368,120,966	7,493.45	381,716,343	3.75	2032/12/31	2.62
4	ペルー	国債証券	REPUBLIC OF PERU 8.75%	2,333,000	14,288.87	333,359,570	14,412.05	336,233,359	8.75	2033/11/21	2.31
5	ロシア	国債証券	RUSSIA 4.5%	3,600,000	9,156.38	329,629,680	9,320.62	335,542,320	4.5	2022/4/4	2.30
6	トルコ	国債証券	TURKEY REP OF 6.25%	2,730,000	10,244.47	279,674,031	10,377.91	283,317,079	6.25	2022/9/26	1.95
7	メキシコ	国債証券	MEXICAN CETES 0%	446,981,400	62.32	278,585,645	62.42	279,007,890	—	2013/4/4	1.92
8	コロンビア	国債証券	COLOMBIA REP OF 7.375%	2,375,000	10,839.84	257,446,200	10,852.15	257,738,752	7.375	2019/3/18	1.77
9	コロンビア	国債証券	COLOMBIA REP OF 7.375%	1,940,000	12,749.13	247,333,122	12,810.72	248,527,968	7.375	2037/9/18	1.71
10	パナマ	国債証券	PANAMA 9.375%	1,740,000	14,063.05	244,697,070	14,042.52	244,339,848	9.375	2029/4/1	1.68
11	ロシア	社債券	ROSNEFT(ROSNEFT 4.199%	2,920,000	8,212.00	239,790,400	8,212.00	239,790,400	4.199	2022/3/6	1.65
12	ベネズエラ	社債券	CORP ANDINA FOM 3.75%	2,498,000	8,622.60	215,392,548	8,622.60	215,392,548	3.75	2016/1/15	1.48
13	メキシコ	国債証券	MEXICAN UTD STS 6.75%	1,750,000	11,763.69	205,864,575	11,804.75	206,583,125	6.75	2034/9/27	1.42
14	ウクライナ	国債証券	UKRAINE GOVT 9.25%	2,300,000	8,766.31	201,625,130	8,981.87	206,583,125	9.25	2017/7/24	1.42
15	ベネズエラ	特殊債券	PETROLEOS DE VEN 5.25%	2,750,400	6,446.41	177,302,335	6,857.01	188,595,478	5.25	2017/4/12	1.29
16	トルコ	国債証券	TURKEY REP OF 5.625%	1,801,000	9,731.21	175,259,272	9,854.40	177,477,744	5.625	2021/3/30	1.22
17	ドミニカ	国債証券	DOMINICAN REP 7.5%	1,850,000	9,546.45	176,609,325	9,566.98	176,989,130	7.5	2021/5/6	1.22
18	ブラジル	特殊債券	BANCO DO BRASIL 3.875%	2,130,000	8,088.82	172,291,866	8,224.31	175,177,973	3.875	2022/10/10	1.20
19	ベネズエラ	国債証券	VENEZUELA 9%	2,300,000	7,103.38	163,377,740	7,452.39	171,404,970	9	2023/5/7	1.18
20	メキシコ	特殊債券	PEMEX PROJ FDG M 6.625%	1,630,000	10,326.59	168,323,417	10,347.12	168,658,056	6.625	2035/6/15	1.16
21	ドミニカ	国債証券	DOMINICAN REP 8.625%(SI)	1,735,000	9,690.16	168,124,276	9,690.16	168,124,276	8.625	2027/4/20	1.15
22	ウルグアイ	国債証券	URUGUAY 8% (SINK)	1,351,276	11,989.51	162,011,506	11,989.51	162,011,506	8	2022/11/18	1.11
23	ベネズエラ	国債証券	VENEZUELA 8.25%	2,290,000	6,672.25	152,794,525	7,021.26	160,786,854	8.25	2024/10/13	1.10
24	イラク	国債証券	REP OF IRAQ 5.8% (SINK)	1,990,000	7,729.54	153,817,945	7,719.28	153,613,672	5.8	2028/1/15	1.05
25	メキシコ	国債証券	MEXICAN UTD STS 4.75%	1,580,000	9,279.56	146,617,048	9,410.95	148,693,041	4.75	2044/3/8	1.02
26	ロシア	社債券	MTS INTL FUNDING 8.625%	1,460,000	10,100.76	147,471,096	10,141.82	148,070,572	8.625	2020/6/22	1.02
27	ロシア	特殊債券	GAZPROM (GAZ CAP 5.999%	1,570,000	9,217.97	144,722,129	9,382.21	147,300,697	5.999	2021/1/23	1.01
28	ベネズエラ	国債証券	VENEZUELA 7.65%	2,067,000	6,323.23	130,701,370	6,692.77	138,339,762	7.65	2025/4/21	0.95
29	コロンビア	社債券	EMPRESA DE ENERG 6.125%	1,450,000	9,228.23	133,809,407	9,238.50	133,958,250	6.125	2021/11/10	0.92
30	韓国	国債証券	REPUBLIC OF KORE 7.125%	1,218,000	10,775.47	131,245,226	10,780.86	131,310,941	7.125	2019/4/16	0.90

種類別及び業種別投資比率（2012年11月30日現在）

種類	投資比率（％）
国債証券	59.39
特殊債券	13.75
社債券	19.41
合計	92.55

（注） 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

② 投資不動産物件

（2012年11月30日現在）

該当事項はありません。

③ その他投資資産の主要なもの

有価証券先物取引等

（2012年11月30日現在）

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建 ／ 売建	数量	通貨	帳簿価額	評価額金額	評価額金額 （円）	投資 比率 （％）
債券先物 取引	アメリカ	シカゴ商品取引 所	CBT 10Y 1303	買建	58	米ドル	7,737,406.82	7,744,812.5	636,004,002	4.37
	アメリカ	シカゴ商品取引 所	CBT 2Y 1303	買建	15	米ドル	3,305,649.75	3,306,328.2	271,515,671	1.86
	アメリカ	シカゴ商品取引 所	CBT 20Y 1303	売建	37	米ドル	5,528,845.29	5,546,531.25	455,481,146	△3.13
	アメリカ	シカゴ商品取引 所	CBT 30Y 1303	買建	12	米ドル	1,984,260.6	1,989,375	163,367,475	1.12
	アメリカ	シカゴ商品取引 所	CBT 5Y 1303	買建	37	米ドル	4,608,090.58	4,611,413.97	378,689,315	2.60

（注１） 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価比率をいいます。

（注２） 評価額は、計算日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。2つ以上の取引所に上場されていて、かつ当該取引所相互間で反対売買が可能な先物取引については、取引量を勘案して評価を行う取引所を決定しております。

(3) 【運用実績】

① 【純資産の推移】

2012年11月30日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期末の純資産の推移は次の通りです。

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり純 資産額 (円) (分配落)	1口当たり純 資産額 (円) (分配付)
第1期	(2005年7月19日)	2,935	2,952	1.0346	1.0406
第2期	(2005年8月17日)	4,761	4,789	1.0127	1.0187
第3期	(2005年9月20日)	7,021	7,062	1.0481	1.0541
第4期	(2005年10月17日)	7,996	8,042	1.0432	1.0492
第5期	(2005年11月17日)	10,880	10,945	1.0999	1.1064
第6期	(2005年12月19日)	14,070	14,162	1.0743	1.0813
第7期	(2006年1月17日)	16,669	16,777	1.0805	1.0875
第8期	(2006年2月17日)	19,539	19,661	1.1206	1.1276
第9期	(2006年3月17日)	21,138	21,467	1.0928	1.1098
第10期	(2006年4月17日)	23,584	23,737	1.0799	1.0869
第11期	(2006年5月17日)	23,699	23,866	0.9957	1.0027
第12期	(2006年6月19日)	25,862	26,038	1.0295	1.0365
第13期	(2006年7月18日)	27,360	27,544	1.0444	1.0514
第14期	(2006年8月17日)	29,373	29,566	1.0663	1.0733
第15期	(2006年9月19日)	31,179	31,525	1.0806	1.0926
第16期	(2006年10月17日)	32,908	33,118	1.0949	1.1019
第17期	(2006年11月17日)	34,543	34,762	1.1015	1.1085
第18期	(2006年12月18日)	34,993	35,536	1.0958	1.1128
第19期	(2007年1月17日)	36,411	36,640	1.1144	1.1214
第20期	(2007年2月19日)	36,844	37,078	1.1031	1.1101
第21期	(2007年3月19日)	36,722	37,135	1.0696	1.0816
第22期	(2007年4月17日)	38,799	39,046	1.1001	1.1071
第23期	(2007年5月17日)	39,959	40,210	1.1157	1.1227
第24期	(2007年6月18日)	39,933	40,551	1.0988	1.1158
第25期	(2007年7月17日)	39,677	39,935	1.0778	1.0848
第26期	(2007年8月17日)	36,078	36,340	0.9616	0.9686
第27期	(2007年9月18日)	38,130	38,397	0.9990	1.0060
第28期	(2007年10月17日)	39,678	39,947	1.0310	1.0380
第29期	(2007年11月19日)	37,784	38,056	0.9730	0.9800
第30期	(2007年12月17日)	38,553	38,825	0.9899	0.9969

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり純 資産額 (円) (分配落)	1口当たり純 資産額 (円) (分配付)
第31期	(2008年 1 月17日)	36,606	36,880	0.9369	0.9439
第32期	(2008年 2 月18日)	36,340	36,614	0.9285	0.9355
第33期	(2008年 3 月17日)	32,758	33,033	0.8322	0.8392
第34期	(2008年 4 月17日)	34,649	34,926	0.8763	0.8833
第35期	(2008年 5 月19日)	35,657	35,938	0.8898	0.8968
第36期	(2008年 6 月17日)	36,725	37,009	0.9084	0.9154
第37期	(2008年 7 月17日)	35,087	35,372	0.8597	0.8667
第38期	(2008年 8 月18日)	37,080	37,367	0.9050	0.9120
第39期	(2008年 9 月17日)	34,008	34,294	0.8317	0.8387
第40期	(2008年10月17日)	26,245	26,528	0.6488	0.6558
第41期	(2008年11月17日)	23,220	23,503	0.5734	0.5804
第42期	(2008年12月17日)	22,047	22,332	0.5417	0.5487
第43期	(2009年 1 月19日)	23,799	24,085	0.5828	0.5898
第44期	(2009年 2 月17日)	23,703	23,990	0.5777	0.5847
第45期	(2009年 3 月17日)	25,257	25,546	0.6129	0.6199
第46期	(2009年 4 月17日)	27,817	28,108	0.6690	0.6760
第47期	(2009年 5 月18日)	27,626	27,920	0.6574	0.6644
第48期	(2009年 6 月17日)	29,167	29,466	0.6842	0.6912
第49期	(2009年 7 月17日)	29,000	29,305	0.6661	0.6731
第50期	(2009年 8 月17日)	30,770	31,081	0.6922	0.6992
第51期	(2009年 9 月17日)	31,819	32,139	0.6978	0.7048
第52期	(2009年10月19日)	32,929	33,255	0.7065	0.7135
第53期	(2009年11月17日)	32,856	33,096	0.6861	0.6911
第54期	(2009年12月17日)	32,788	33,025	0.6927	0.6977
第55期	(2010年 1 月18日)	33,010	33,245	0.7010	0.7060
第56期	(2010年 2 月17日)	32,066	32,300	0.6855	0.6905
第57期	(2010年 3 月17日)	33,084	33,317	0.7115	0.7165
第58期	(2010年 4 月19日)	33,759	33,989	0.7338	0.7388
第59期	(2010年 5 月17日)	32,894	33,123	0.7190	0.7240
第60期	(2010年 6 月17日)	32,072	32,300	0.7053	0.7103
第61期	(2010年 7 月20日)	31,125	31,351	0.6881	0.6931
第62期	(2010年 8 月17日)	31,318	31,542	0.6988	0.7038

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり純 資産額 (円) (分配落)	1口当たり純 資産額 (円) (分配付)
第63期	(2010年9月17日)	31,299	31,521	0.7032	0.7082
第64期	(2010年10月18日)	30,184	30,404	0.6837	0.6887
第65期	(2010年11月17日)	29,931	30,107	0.6825	0.6865
第66期	(2010年12月17日)	28,520	28,691	0.6659	0.6699
第67期	(2011年1月17日)	28,147	28,315	0.6676	0.6716
第68期	(2011年2月17日)	26,910	27,075	0.6537	0.6577
第69期	(2011年3月17日)	24,938	25,098	0.6230	0.6270
第70期	(2011年4月18日)	26,004	26,103	0.6603	0.6628
第71期	(2011年5月17日)	24,340	24,433	0.6508	0.6533
第72期	(2011年6月17日)	22,478	22,564	0.6484	0.6509
第73期	(2011年7月19日)	20,749	20,830	0.6373	0.6398
第74期	(2011年8月17日)	19,458	19,536	0.6238	0.6263
第75期	(2011年9月20日)	18,492	18,567	0.6160	0.6185
第76期	(2011年10月17日)	17,793	17,866	0.6096	0.6121
第77期	(2011年11月17日)	17,466	17,536	0.6229	0.6254
第78期	(2011年12月19日)	16,835	16,902	0.6245	0.6270
第79期	(2012年1月17日)	16,120	16,186	0.6161	0.6186
第80期	(2012年2月17日)	16,418	16,481	0.6532	0.6557
第81期	(2012年3月19日)	17,015	17,075	0.7037	0.7062
第82期	(2012年4月17日)	15,932	15,991	0.6741	0.6766
第83期	(2012年5月17日)	15,403	15,461	0.6665	0.6690
第84期	(2012年6月18日)	15,043	15,099	0.6673	0.6698
第85期	(2012年7月17日)	15,108	15,163	0.6857	0.6882
第86期	(2012年8月17日)	14,760	14,813	0.6929	0.6954
第87期	(2012年9月18日)	14,495	14,547	0.7009	0.7034
第88期	(2012年10月17日)	14,318	14,369	0.7135	0.7160
第89期	(2012年11月19日)	14,124	14,172	0.7289	0.7314
	2011年11月末日	17,248	—	0.6227	—
	2011年12月末日	16,669	—	0.6262	—
	2012年1月末日	16,037	—	0.6255	—
	2012年2月末日	16,836	—	0.6779	—
	2012年3月末日	16,465	—	0.6880	—

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり純 資産額 (円) (分配落)	1口当たり純 資産額 (円) (分配付)
	2012年4月末日	16,024	—	0.6856	—
	2012年5月末日	14,823	—	0.6490	—
	2012年6月末日	14,860	—	0.6675	—
	2012年7月末日	14,785	—	0.6834	—
	2012年8月末日	14,617	—	0.6948	—
	2012年9月末日	14,194	—	0.6945	—
	2012年10月末日	14,118	—	0.7155	—
	2012年11月末日	14,215	—	0.7443	—

（注） 表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

②【分配の推移】

期	計算期間	1口当たりの分配金 (円)
第1期	自 2005年6月2日 至 2005年7月19日	0.0060
第2期	自 2005年7月20日 至 2005年8月17日	0.0060
第3期	自 2005年8月18日 至 2005年9月20日	0.0060
第4期	自 2005年9月21日 至 2005年10月17日	0.0060
第5期	自 2005年10月18日 至 2005年11月17日	0.0065
第6期	自 2005年11月18日 至 2005年12月19日	0.0070
第7期	自 2005年12月20日 至 2006年1月17日	0.0070
第8期	自 2006年1月18日 至 2006年2月17日	0.0070
第9期	自 2006年2月18日 至 2006年3月17日	0.0170
第10期	自 2006年3月18日 至 2006年4月17日	0.0070
第11期	自 2006年4月18日 至 2006年5月17日	0.0070
第12期	自 2006年5月18日 至 2006年6月19日	0.0070
第13期	自 2006年6月20日 至 2006年7月18日	0.0070
第14期	自 2006年7月19日 至 2006年8月17日	0.0070
第15期	自 2006年8月18日 至 2006年9月19日	0.0120
第16期	自 2006年9月20日 至 2006年10月17日	0.0070
第17期	自 2006年10月18日 至 2006年11月17日	0.0070
第18期	自 2006年11月18日 至 2006年12月18日	0.0170
第19期	自 2006年12月19日 至 2007年1月17日	0.0070
第20期	自 2007年1月18日 至 2007年2月19日	0.0070
第21期	自 2007年2月20日 至 2007年3月19日	0.0120
第22期	自 2007年3月20日 至 2007年4月17日	0.0070

期	計算期間	1口当たりの分配金 (円)
第23期	自 2007年4月18日 至 2007年5月17日	0.0070
第24期	自 2007年5月18日 至 2007年6月18日	0.0170
第25期	自 2007年6月19日 至 2007年7月17日	0.0070
第26期	自 2007年7月18日 至 2007年8月17日	0.0070
第27期	自 2007年8月18日 至 2007年9月18日	0.0070
第28期	自 2007年9月19日 至 2007年10月17日	0.0070
第29期	自 2007年10月18日 至 2007年11月19日	0.0070
第30期	自 2007年11月20日 至 2007年12月17日	0.0070
第31期	自 2007年12月18日 至 2008年1月17日	0.0070
第32期	自 2008年1月18日 至 2008年2月18日	0.0070
第33期	自 2008年2月19日 至 2008年3月17日	0.0070
第34期	自 2008年3月18日 至 2008年4月17日	0.0070
第35期	自 2008年4月18日 至 2008年5月19日	0.0070
第36期	自 2008年5月20日 至 2008年6月17日	0.0070
第37期	自 2008年6月18日 至 2008年7月17日	0.0070
第38期	自 2008年7月18日 至 2008年8月18日	0.0070
第39期	自 2008年8月19日 至 2008年9月17日	0.0070
第40期	自 2008年9月18日 至 2008年10月17日	0.0070
第41期	自 2008年10月18日 至 2008年11月17日	0.0070
第42期	自 2008年11月18日 至 2008年12月17日	0.0070
第43期	自 2008年12月18日 至 2009年1月19日	0.0070
第44期	自 2009年1月20日 至 2009年2月17日	0.0070

期	計算期間	1口当たりの分配金 (円)
第45期	自 2009年2月18日 至 2009年3月17日	0.0070
第46期	自 2009年3月18日 至 2009年4月17日	0.0070
第47期	自 2009年4月18日 至 2009年5月18日	0.0070
第48期	自 2009年5月19日 至 2009年6月17日	0.0070
第49期	自 2009年6月18日 至 2009年7月17日	0.0070
第50期	自 2009年7月18日 至 2009年8月17日	0.0070
第51期	自 2009年8月18日 至 2009年9月17日	0.0070
第52期	自 2009年9月18日 至 2009年10月19日	0.0070
第53期	自 2009年10月20日 至 2009年11月17日	0.0050
第54期	自 2009年11月18日 至 2009年12月17日	0.0050
第55期	自 2009年12月18日 至 2010年1月18日	0.0050
第56期	自 2010年1月19日 至 2010年2月17日	0.0050
第57期	自 2010年2月18日 至 2010年3月17日	0.0050
第58期	自 2010年3月18日 至 2010年4月19日	0.0050
第59期	自 2010年4月20日 至 2010年5月17日	0.0050
第60期	自 2010年5月18日 至 2010年6月17日	0.0050
第61期	自 2010年6月18日 至 2010年7月20日	0.0050
第62期	自 2010年7月21日 至 2010年8月17日	0.0050
第63期	自 2010年8月18日 至 2010年9月17日	0.0050
第64期	自 2010年9月18日 至 2010年10月18日	0.0050
第65期	自 2010年10月19日 至 2010年11月17日	0.0040
第66期	自 2010年11月18日 至 2010年12月17日	0.0040

期	計算期間	1口当たりの分配金 (円)
第67期	自 2010年12月18日 至 2011年1月17日	0.0040
第68期	自 2011年1月18日 至 2011年2月17日	0.0040
第69期	自 2011年2月18日 至 2011年3月17日	0.0040
第70期	自 2011年3月18日 至 2011年4月18日	0.0025
第71期	自 2011年4月19日 至 2011年5月17日	0.0025
第72期	自 2011年5月18日 至 2011年6月17日	0.0025
第73期	自 2011年6月18日 至 2011年7月19日	0.0025
第74期	自 2011年7月20日 至 2011年8月17日	0.0025
第75期	自 2011年8月18日 至 2011年9月20日	0.0025
第76期	自 2011年9月21日 至 2011年10月17日	0.0025
第77期	自 2011年10月18日 至 2011年11月17日	0.0025
第78期	自 2011年11月18日 至 2011年12月19日	0.0025
第79期	自 2011年12月20日 至 2012年1月17日	0.0025
第80期	自 2012年1月18日 至 2012年2月17日	0.0025
第81期	自 2012年2月18日 至 2012年3月19日	0.0025
第82期	自 2012年3月20日 至 2012年4月17日	0.0025
第83期	自 2012年4月18日 至 2012年5月17日	0.0025
第84期	自 2012年5月18日 至 2012年6月18日	0.0025
第85期	自 2012年6月19日 至 2012年7月17日	0.0025
第86期	自 2012年7月18日 至 2012年8月17日	0.0025
第87期	自 2012年8月18日 至 2012年9月18日	0.0025
第88期	自 2012年9月19日 至 2012年10月17日	0.0025

期	計算期間	1口当たりの分配金 (円)
第89期	自 2012年10月18日 至 2012年11月19日	0.0025

③【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第1期	自 2005年6月2日 至 2005年7月19日	4.1
第2期	自 2005年7月20日 至 2005年8月17日	△1.5
第3期	自 2005年8月18日 至 2005年9月20日	4.1
第4期	自 2005年9月21日 至 2005年10月17日	0.1
第5期	自 2005年10月18日 至 2005年11月17日	6.1
第6期	自 2005年11月18日 至 2005年12月19日	△1.7
第7期	自 2005年12月20日 至 2006年1月17日	1.2
第8期	自 2006年1月18日 至 2006年2月17日	4.4
第9期	自 2006年2月18日 至 2006年3月17日	△1.0
第10期	自 2006年3月18日 至 2006年4月17日	△0.5
第11期	自 2006年4月18日 至 2006年5月17日	△7.1
第12期	自 2006年5月18日 至 2006年6月19日	4.1
第13期	自 2006年6月20日 至 2006年7月18日	2.1
第14期	自 2006年7月19日 至 2006年8月17日	2.8
第15期	自 2006年8月18日 至 2006年9月19日	2.5
第16期	自 2006年9月20日 至 2006年10月17日	2.0
第17期	自 2006年10月18日 至 2006年11月17日	1.2
第18期	自 2006年11月18日 至 2006年12月18日	1.0
第19期	自 2006年12月19日 至 2007年1月17日	2.3
第20期	自 2007年1月18日 至 2007年2月19日	△0.4
第21期	自 2007年2月20日 至 2007年3月19日	△1.9
第22期	自 2007年3月20日 至 2007年4月17日	3.5

期	計算期間	収益率（％）
第23期	自 2007年4月18日 至 2007年5月17日	2.1
第24期	自 2007年5月18日 至 2007年6月18日	0.0
第25期	自 2007年6月19日 至 2007年7月17日	△1.3
第26期	自 2007年7月18日 至 2007年8月17日	△10.1
第27期	自 2007年8月18日 至 2007年9月18日	4.6
第28期	自 2007年9月19日 至 2007年10月17日	3.9
第29期	自 2007年10月18日 至 2007年11月19日	△4.9
第30期	自 2007年11月20日 至 2007年12月17日	2.5
第31期	自 2007年12月18日 至 2008年1月17日	△4.6
第32期	自 2008年1月18日 至 2008年2月18日	△0.1
第33期	自 2008年2月19日 至 2008年3月17日	△9.6
第34期	自 2008年3月18日 至 2008年4月17日	6.1
第35期	自 2008年4月18日 至 2008年5月19日	2.3
第36期	自 2008年5月20日 至 2008年6月17日	2.9
第37期	自 2008年6月18日 至 2008年7月17日	△4.6
第38期	自 2008年7月18日 至 2008年8月18日	6.1
第39期	自 2008年8月19日 至 2008年9月17日	△7.3
第40期	自 2008年9月18日 至 2008年10月17日	△21.1
第41期	自 2008年10月18日 至 2008年11月17日	△10.5
第42期	自 2008年11月18日 至 2008年12月17日	△4.3
第43期	自 2008年12月18日 至 2009年1月19日	8.9
第44期	自 2009年1月20日 至 2009年2月17日	0.3

期	計算期間	収益率（％）
第45期	自 2009年2月18日 至 2009年3月17日	7.3
第46期	自 2009年3月18日 至 2009年4月17日	10.3
第47期	自 2009年4月18日 至 2009年5月18日	△0.7
第48期	自 2009年5月19日 至 2009年6月17日	5.1
第49期	自 2009年6月18日 至 2009年7月17日	△1.6
第50期	自 2009年7月18日 至 2009年8月17日	5.0
第51期	自 2009年8月18日 至 2009年9月17日	1.8
第52期	自 2009年9月18日 至 2009年10月19日	2.2
第53期	自 2009年10月20日 至 2009年11月17日	△2.2
第54期	自 2009年11月18日 至 2009年12月17日	1.7
第55期	自 2009年12月18日 至 2010年1月18日	1.9
第56期	自 2010年1月19日 至 2010年2月17日	△1.5
第57期	自 2010年2月18日 至 2010年3月17日	4.5
第58期	自 2010年3月18日 至 2010年4月19日	3.8
第59期	自 2010年4月20日 至 2010年5月17日	△1.3
第60期	自 2010年5月18日 至 2010年6月17日	△1.2
第61期	自 2010年6月18日 至 2010年7月20日	△1.7
第62期	自 2010年7月21日 至 2010年8月17日	2.3
第63期	自 2010年8月18日 至 2010年9月17日	1.3
第64期	自 2010年9月18日 至 2010年10月18日	△2.1
第65期	自 2010年10月19日 至 2010年11月17日	0.4
第66期	自 2010年11月18日 至 2010年12月17日	△1.8

期	計算期間	収益率（％）
第67期	自 2010年12月18日 至 2011年1月17日	0.9
第68期	自 2011年1月18日 至 2011年2月17日	△1.5
第69期	自 2011年2月18日 至 2011年3月17日	△4.1
第70期	自 2011年3月18日 至 2011年4月18日	6.4
第71期	自 2011年4月19日 至 2011年5月17日	△1.1
第72期	自 2011年5月18日 至 2011年6月17日	0.0
第73期	自 2011年6月18日 至 2011年7月19日	△1.3
第74期	自 2011年7月20日 至 2011年8月17日	△1.7
第75期	自 2011年8月18日 至 2011年9月20日	△0.8
第76期	自 2011年9月21日 至 2011年10月17日	△0.6
第77期	自 2011年10月18日 至 2011年11月17日	2.6
第78期	自 2011年11月18日 至 2011年12月19日	0.7
第79期	自 2011年12月20日 至 2012年1月17日	△0.9
第80期	自 2012年1月18日 至 2012年2月17日	6.4
第81期	自 2012年2月18日 至 2012年3月19日	8.1
第82期	自 2012年3月20日 至 2012年4月17日	△3.9
第83期	自 2012年4月18日 至 2012年5月17日	△0.8
第84期	自 2012年5月18日 至 2012年6月18日	0.5
第85期	自 2012年6月19日 至 2012年7月17日	3.1
第86期	自 2012年7月18日 至 2012年8月17日	1.4
第87期	自 2012年8月18日 至 2012年9月18日	1.5
第88期	自 2012年9月19日 至 2012年10月17日	2.2

期	計算期間	収益率（％）
第89期	自 2012年10月18日 至 2012年11月19日	2.5

（４）【設定及び解約の実績】

下記計算期間中の設定及び解約の実績ならびに当該計算期末の発行済み口数は次の通りです。

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第１期	自 2005年６月２日 至 2005年７月19日	2,838,756,747 (0)	1,173,630 (0)	2,837,583,117 (0)
第２期	自 2005年７月20日 至 2005年８月17日	1,866,629,797 (0)	2,922,552 (0)	4,701,290,362 (0)
第３期	自 2005年８月18日 至 2005年９月20日	2,002,677,794 (0)	4,340,632 (0)	6,699,627,524 (0)
第４期	自 2005年９月21日 至 2005年10月17日	973,278,786 (0)	7,941,127 (0)	7,664,965,183 (0)
第５期	自 2005年10月18日 至 2005年11月17日	2,307,216,309 (0)	79,814,333 (0)	9,892,367,159 (0)
第６期	自 2005年11月18日 至 2005年12月19日	3,294,300,741 (0)	89,583,878 (0)	13,097,084,022 (0)
第７期	自 2005年12月20日 至 2006年１月17日	2,411,133,104 (0)	81,522,905 (0)	15,426,694,221 (0)
第８期	自 2006年１月18日 至 2006年２月17日	2,074,196,881 (0)	64,215,722 (0)	17,436,675,380 (0)
第９期	自 2006年２月18日 至 2006年３月17日	2,000,979,991 (0)	94,471,437 (0)	19,343,183,934 (0)
第10期	自 2006年３月18日 至 2006年４月17日	2,516,299,928 (0)	20,342,556 (0)	21,839,141,306 (0)
第11期	自 2006年４月18日 至 2006年５月17日	2,075,307,073 (0)	112,464,658 (0)	23,801,983,721 (0)
第12期	自 2006年５月18日 至 2006年６月19日	1,466,953,298 (0)	147,247,722 (0)	25,121,689,297 (0)
第13期	自 2006年６月20日 至 2006年７月18日	1,116,887,573 (0)	40,566,904 (0)	26,198,009,966 (0)
第14期	自 2006年７月19日 至 2006年８月17日	1,454,286,947 (0)	104,841,403 (0)	27,547,455,510 (0)
第15期	自 2006年８月18日 至 2006年９月19日	1,411,331,114 (0)	104,388,226 (0)	28,854,398,398 (0)
第16期	自 2006年９月20日 至 2006年10月17日	1,306,223,976 (0)	104,391,561 (0)	30,056,230,813 (0)
第17期	自 2006年10月18日 至 2006年11月17日	1,437,783,862 (0)	132,619,191 (0)	31,361,395,484 (0)
第18期	自 2006年11月18日 至 2006年12月18日	1,023,981,532 (0)	450,148,071 (0)	31,935,228,945 (0)
第19期	自 2006年12月19日 至 2007年１月17日	971,728,463 (0)	231,768,422 (0)	32,675,188,986 (0)
第20期	自 2007年１月18日 至 2007年２月19日	1,172,517,611 (0)	446,726,675 (0)	33,400,979,922 (0)
第21期	自 2007年２月20日 至 2007年３月19日	1,214,012,098 (0)	280,406,468 (0)	34,334,585,552 (0)

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第22期	自 2007年3月20日 至 2007年4月17日	1,177,793,685 (0)	242,755,725 (0)	35,269,623,512 (0)
第23期	自 2007年4月18日 至 2007年5月17日	753,771,414 (0)	207,930,848 (0)	35,815,464,078 (0)
第24期	自 2007年5月18日 至 2007年6月18日	837,524,566 (0)	310,764,077 (0)	36,342,224,567 (0)
第25期	自 2007年6月19日 至 2007年7月17日	844,785,739 (0)	373,740,569 (0)	36,813,269,737 (0)
第26期	自 2007年7月18日 至 2007年8月17日	1,038,618,436 (0)	331,122,362 (0)	37,520,765,811 (0)
第27期	自 2007年8月18日 至 2007年9月18日	774,449,129 (0)	128,111,422 (0)	38,167,103,518 (0)
第28期	自 2007年9月19日 至 2007年10月17日	481,568,561 (0)	165,076,315 (0)	38,483,595,764 (0)
第29期	自 2007年10月18日 至 2007年11月19日	591,452,930 (0)	241,156,865 (0)	38,833,891,829 (0)
第30期	自 2007年11月20日 至 2007年12月17日	459,732,422 (0)	345,923,383 (0)	38,947,700,868 (0)
第31期	自 2007年12月18日 至 2008年1月17日	415,276,468 (0)	289,648,347 (0)	39,073,328,989 (0)
第32期	自 2008年1月18日 至 2008年2月18日	505,518,954 (0)	441,899,074 (0)	39,136,948,869 (0)
第33期	自 2008年2月19日 至 2008年3月17日	398,310,898 (0)	170,634,330 (0)	39,364,625,437 (0)
第34期	自 2008年3月18日 至 2008年4月17日	389,694,431 (0)	213,942,622 (0)	39,540,377,246 (0)
第35期	自 2008年4月18日 至 2008年5月19日	697,565,762 (0)	161,669,285 (0)	40,076,273,723 (0)
第36期	自 2008年5月20日 至 2008年6月17日	518,074,619 (0)	163,523,756 (0)	40,430,824,586 (0)
第37期	自 2008年6月18日 至 2008年7月17日	550,795,190 (0)	169,027,550 (0)	40,812,592,226 (0)
第38期	自 2008年7月18日 至 2008年8月18日	494,196,303 (0)	333,235,793 (0)	40,973,552,736 (0)
第39期	自 2008年8月19日 至 2008年9月17日	334,612,991 (0)	418,406,272 (0)	40,889,759,455 (0)
第40期	自 2008年9月18日 至 2008年10月17日	213,765,394 (0)	653,435,017 (0)	40,450,089,832 (0)
第41期	自 2008年10月18日 至 2008年11月17日	335,163,703 (0)	292,424,023 (0)	40,492,829,512 (0)
第42期	自 2008年11月18日 至 2008年12月17日	308,317,784 (0)	96,826,457 (0)	40,704,320,839 (0)
第43期	自 2008年12月18日 至 2009年1月19日	280,023,777 (0)	146,481,802 (0)	40,837,862,814 (0)

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第44期	自 2009年1月20日 至 2009年2月17日	332,434,081 (0)	142,240,186 (0)	41,028,056,709 (0)
第45期	自 2009年2月18日 至 2009年3月17日	252,768,897 (0)	69,095,043 (0)	41,211,730,563 (0)
第46期	自 2009年3月18日 至 2009年4月17日	439,201,954 (0)	70,108,432 (0)	41,580,824,085 (0)
第47期	自 2009年4月18日 至 2009年5月18日	536,653,887 (0)	91,604,162 (0)	42,025,873,810 (0)
第48期	自 2009年5月19日 至 2009年6月17日	672,568,275 (0)	66,201,412 (0)	42,632,240,673 (0)
第49期	自 2009年6月18日 至 2009年7月17日	999,206,426 (0)	92,831,600 (0)	43,538,615,499 (0)
第50期	自 2009年7月18日 至 2009年8月17日	1,019,136,108 (0)	102,998,740 (0)	44,454,752,867 (0)
第51期	自 2009年8月18日 至 2009年9月17日	1,234,333,403 (0)	85,707,365 (0)	45,603,378,905 (0)
第52期	自 2009年9月18日 至 2009年10月19日	1,065,097,349 (0)	62,373,408 (0)	46,606,102,846 (0)
第53期	自 2009年10月20日 至 2009年11月17日	1,385,195,801 (0)	98,804,955 (0)	47,892,493,692 (0)
第54期	自 2009年11月18日 至 2009年12月17日	646,941,360 (0)	1,206,960,511 (0)	47,332,474,541 (0)
第55期	自 2009年12月18日 至 2010年1月18日	302,832,956 (0)	547,888,007 (0)	47,087,419,490 (0)
第56期	自 2010年1月19日 至 2010年2月17日	351,428,310 (0)	657,536,448 (0)	46,781,311,352 (0)
第57期	自 2010年2月18日 至 2010年3月17日	159,748,456 (0)	442,329,155 (0)	46,498,730,653 (0)
第58期	自 2010年3月18日 至 2010年4月19日	164,180,408 (0)	659,266,619 (0)	46,003,644,442 (0)
第59期	自 2010年4月20日 至 2010年5月17日	251,132,253 (0)	501,016,918 (0)	45,753,759,777 (0)
第60期	自 2010年5月18日 至 2010年6月17日	220,027,337 (0)	498,878,502 (0)	45,474,908,612 (0)
第61期	自 2010年6月18日 至 2010年7月20日	142,365,769 (0)	383,161,582 (0)	45,234,112,799 (0)
第62期	自 2010年7月21日 至 2010年8月17日	101,095,645 (0)	519,688,887 (0)	44,815,519,557 (0)
第63期	自 2010年8月18日 至 2010年9月17日	153,962,857 (0)	458,423,972 (0)	44,511,058,442 (0)
第64期	自 2010年9月18日 至 2010年10月18日	79,460,336 (0)	442,294,378 (0)	44,148,224,400 (0)
第65期	自 2010年10月19日 至 2010年11月17日	151,611,933 (0)	444,637,310 (0)	43,855,199,023 (0)

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第66期	自 2010年11月18日 至 2010年12月17日	106,586,820 (0)	1,132,523,993 (0)	42,829,261,850 (0)
第67期	自 2010年12月18日 至 2011年 1 月17日	44,129,017 (0)	709,149,328 (0)	42,164,241,539 (0)
第68期	自 2011年 1 月18日 至 2011年 2 月17日	60,153,344 (0)	1,059,330,704 (0)	41,165,064,179 (0)
第69期	自 2011年 2 月18日 至 2011年 3 月17日	35,813,867 (0)	1,171,292,819 (0)	40,029,585,227 (0)
第70期	自 2011年 3 月18日 至 2011年 4 月18日	43,804,863 (0)	691,947,816 (0)	39,381,442,274 (0)
第71期	自 2011年 4 月19日 至 2011年 5 月17日	63,035,073 (0)	2,044,014,994 (0)	37,400,462,353 (0)
第72期	自 2011年 5 月18日 至 2011年 6 月17日	10,466,527 (0)	2,745,378,600 (0)	34,665,550,280 (0)
第73期	自 2011年 6 月18日 至 2011年 7 月19日	9,176,842 (0)	2,118,648,747 (0)	32,556,078,375 (0)
第74期	自 2011年 7 月20日 至 2011年 8 月17日	4,469,949 (0)	1,365,278,032 (0)	31,195,270,292 (0)
第75期	自 2011年 8 月18日 至 2011年 9 月20日	5,139,504 (0)	1,177,984,016 (0)	30,022,425,780 (0)
第76期	自 2011年 9 月21日 至 2011年10月17日	6,125,183 (0)	838,938,675 (0)	29,189,612,288 (0)
第77期	自 2011年10月18日 至 2011年11月17日	4,386,218 (0)	1,151,084,222 (0)	28,042,914,284 (0)
第78期	自 2011年11月18日 至 2011年12月19日	4,168,820 (0)	1,087,208,055 (0)	26,959,875,049 (0)
第79期	自 2011年12月20日 至 2012年 1 月17日	4,075,764 (0)	798,269,185 (0)	26,165,681,628 (0)
第80期	自 2012年 1 月18日 至 2012年 2 月17日	3,584,458 (0)	1,031,808,491 (0)	25,137,457,595 (0)
第81期	自 2012年 2 月18日 至 2012年 3 月19日	16,428,163 (0)	975,617,438 (0)	24,178,268,320 (0)
第82期	自 2012年 3 月20日 至 2012年 4 月17日	13,651,112 (0)	555,613,597 (0)	23,636,305,835 (0)
第83期	自 2012年 4 月18日 至 2012年 5 月17日	4,209,504 (0)	531,137,303 (0)	23,109,378,036 (0)
第84期	自 2012年 5 月18日 至 2012年 6 月18日	4,870,612 (0)	571,099,424 (0)	22,543,149,224 (0)
第85期	自 2012年 6 月19日 至 2012年 7 月17日	5,874,926 (0)	515,681,214 (0)	22,033,342,936 (0)
第86期	自 2012年 7 月18日 至 2012年 8 月17日	6,945,489 (0)	737,202,820 (0)	21,303,085,605 (0)
第87期	自 2012年 8 月18日 至 2012年 9 月18日	4,394,671 (0)	625,789,488 (0)	20,681,690,788 (0)

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第88期	自 2012年9月19日 至 2012年10月17日	2,748,838 (0)	615,609,059 (0)	20,068,830,567 (0)
第89期	自 2012年10月18日 至 2012年11月19日	8,885,249 (0)	700,772,233 (0)	19,376,943,583 (0)

（注１）（ ）内の数字は本邦外における設定、解約及び発行済み口数です。

（注２）設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

[次へ](#)

(参考) 運用実績

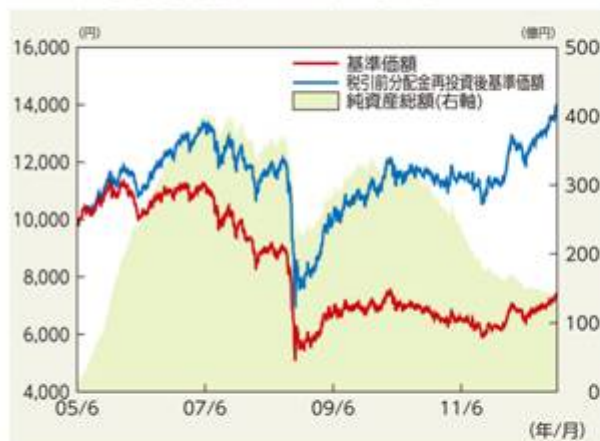
最新の運用実績は委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2012年11月30日現在

基準価額・純資産の推移

2005年6月2日(設定日)～2012年11月30日



●税引前分配金再投資後基準価額および期間別騰落率(税引前分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。

●運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

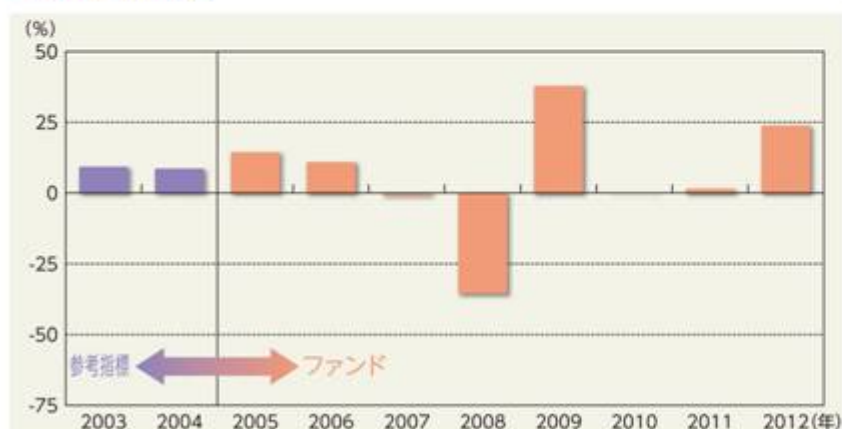
組入上位銘柄

	銘柄	通貨	償還日	格付 ^(注)	クーポン	比率
1	インドネシア国債	米ドル	2038/1/17	BB+/Baa3	7.750%	5.8%
2	フィリピン国債	米ドル	2024/10/21	BB+/Ba1	9.500%	3.6%
3	コートジボワール国債	米ドル	2032/12/31	NA/NA	3.750%	2.6%
4	ペルー国債	米ドル	2033/11/21	BBB/Baa2	8.750%	2.3%
5	ロシア国債	米ドル	2022/4/4	BBB/Baa1	4.500%	2.3%
6	トルコ国債	米ドル	2022/9/26	BB/Ba1	6.250%	1.9%
7	メキシコ国債 **	メキシコペソ	2013/4/4	A-/Baa1	0.000%	1.9%
8	コロンビア国債	米ドル	2019/3/18	BBB-/Baa3	7.375%	1.8%
9	コロンビア国債	米ドル	2037/9/18	BBB-/Baa3	7.375%	1.7%
10	パナマ国債	米ドル	2029/4/1	BBB/Baa2	9.375%	1.7%

**現地通貨建て債券です。ただし、為替部分は米ドルヘッジしています。

(注) 上記格付は、スタンダード&プアーズ(左)とムーディーズ(右)の格付けを表記しています。NAは格付け機関からの開示がないことを表しています。

年間収益率の推移



●本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものとして算出しています。

●2003年から2004年までは参考指標の収益率を表示しています。

●2005年は設定日(6月2日)から年末までの騰落率、2012年は1月から11月末までの騰落率を表示しています。

●参考指標はあくまで参考情報であり、本ファンドの運用実績ではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	7,443円
純資産総額	142.2億円

期間別騰落率(%) (税引前分配金再投資)

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	4.38	8.25	17.17	24.94	33.62	16.90	40.41

分配の推移(円) (1万口当たり、税引前)

決算日	11 12/19	12 1/17	12 2/17	12 3/19	12 4/17	12 5/17	12 6/18
分配金	25	25	25	25	25	25	25
決算日	12 7/17	12 8/17	12 9/18	12 10/17	12 11/19	直近1年 累計	設定来 累計
分配金	25	25	25	25	25	300	5,295

ポートフォリオ情報*

加重平均クーポン	6.00%
平均格付	BB
ファンドのデュレーション	7.23年
参考指標のデュレーション	7.08年
直接利回り	5.22%
最終利回り	4.36%

*マザーファンドに基づくデータであり、比率は対純資産総額です。上記のファンドの直接利回り、最終利回りは、費用、税金、信託報酬控除前のものです。また、実際の投資家利回りとは異なります。

地域別比率*



*マザーファンドに基づくデータであり、比率は対純資産総額です。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

- (1) 受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、お買付のお申込みを行うものとします。お買付のお申込みは、販売会社所定の方法により、毎営業日^{*1}受け付けます。毎営業日の午後3時^{*2}までに、お買付のお申込みが行われかつ当該お申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込分とします。当日の受付終了後のお申込みについては、翌営業日のお取扱いとします。

※1 英国証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所の休業日またはロンドンの銀行もしくはニューヨークの銀行の休業日（以下「ロンドンまたはニューヨークの休業日」といいます。）に該当する場合には、販売会社の営業日であっても、お買付のお申込みはお受け付けません。なお、収益分配金の再投資に係る追加信託金のお申込みに限り、「ロンドンまたはニューヨークの休業日」においてもこれを受け付けるものとします。

※2 販売会社によっては午後3時より前に受付を締め切る場合がありますので、販売会社にご確認ください。

- (2) 収益分配金の受取方法により、収益分配時に収益分配金を受取る「一般コース」、収益分配金が税金を差引かれた後自動的に無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」がありますので、どちらかのコースをお選びいただくことになります（ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。）。一度お選びいただいたコースは原則として途中で変更することはできません。

「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、お買付に際して、本ファンドに係る「自動けいぞく投資契約」（販売会社によっては名称が異なる場合があります。）を販売会社との間で結んでいただきます。なお、販売会社によっては、自動けいぞく投資契約を結んだ場合であっても、収益分配金の受取りをご希望の方は、再投資を中止することを申出ることができます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- (3) お買付価額は、取得申込日の翌営業日の基準価額とします。また、お申込みには申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等相当額がかかります。ただし、自動けいぞく投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。最新の基準価額は販売会社または下記の照会先で入手可能です。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

電話：03（6437）6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp

また、原則として、日本経済新聞（朝刊）の「オープン基準価格」欄に、基準価額が掲載されます（略称：「花ボンド」）。

- (4) お買付単位は、販売会社が別途定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。販売会社については、上記(3)の照会先までお問い合わせください。

自動けいぞく投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、1口の整数倍をもって取得のお申込みに応じます。

- (5) お買付代金はお申込みの販売会社にお支払いください。お買付代金の払込期日は販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- (6) 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情（コンピューターの誤作動等により決済が不能となった場合、基準価額の計算が不能となった場合、計算された基準価額の正確性に合理的な疑いが生じた場合等を含みます。）があると委託会社が判断したときは、販売会社は、受益権の取得申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた取得申込みを取消することができます。

2【換金（解約）手続等】

- (1) ご換金（解約）のお申込みは、毎営業日^{*1}受け付けます。毎営業日の午後3時^{*2}までに、ご換金のお申込みが行われかつ当該お申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込分とします。当日の受付終了後のお申込みについては、翌営業日のお取扱いとします。ご換金場所は販売会社の本・支店、営業所です。

※1 「ロンドンまたはニューヨークの休業日」を除きます。

※2 販売会社によっては午後3時より前に受付を締め切る場合がありますので、販売会社にご確認ください。

- (2) 受益者は、販売会社が別途定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。販売会社については、下記(4)の照会先までお問い合わせください。

- (3) 一部解約の価額は、一部解約の実行の請求日の翌営業日の基準価額とします。手取額は、当該基準価額から換金にかかる税金を差引いた金額となります。

詳しくは、「第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取扱い」をご覧ください。

- (4) 本ファンドの基準価額は毎営業日算出されます。最新の基準価額は販売会社または下記の照会先で入手可能です。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

電話：03（6437）6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp

また、原則として、日本経済新聞（朝刊）の「オープン基準価格」欄に、基準価額が掲載されます（略称：「花ボンド」）。

- (5) 一部解約代金は、受益者による一部解約の実行の請求日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じて受益者に支払われます。
- (6) 信託財産の資金管理を円滑に行うため、1顧客1日当たり3億円を超える大口のご換金は制限することがあります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- (7) 委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情（コンピューターの誤作動等により決済が不能となった場合、基準価額の計算が不能となった場合、計算された基準価額の正確性に合理的な疑いが生じた場合等を含みます。）があるときは、上記の一部解約の実行の請求の受付を中止することおよびすでに受けた一部解約の実行の請求を保留または取消することができます。この場合、受益者は当該受付中止または保留以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止または保留を解除した後の最初の基準価額の計算日を一部解約の実行の請求日として上記に準じて計算された価額とします。
- (8) 信託約款の変更を行う場合においてその内容の変更が重大な場合に、後記「第2 管理及び運営 3 資産管理等の概要 (5) その他 b. 約款変更」に定める期間内に異議を述べた受益者は、投資信託法に定めるところにより、販売会社を通じ、受託銀行に対し、自己に帰属する受益権を本ファンドの信託財産をもって公正な価額で買取るべき旨を請求することができます。後記「第2 管理及び運営 3 資産管理等の概要 (5) その他 a. 信託の終了」に規定する信託契約の解約を行う場合において所定の期間内に異議を述べた受益者についても同様です。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

本ファンド1万口当たりの純資産総額（以下「基準価額」といいます。）は、本ファンドの信託財産の純資産総額をその時の受益権総口数で除して得た額の1万口当たりの額です。「信託財産の純資産総額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。なお、外貨建資産の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。予約為替の評価は、原則としてわが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

本ファンドの基準価額は毎営業日算出されます。最新の基準価額は販売会社または下記の照会先で入手可能です。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

電話：03（6437）6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp

また、原則として、日本経済新聞（朝刊）の「オープン基準価格」欄に、基準価額が掲載されます（略称：「花ボンド」）。年2回（5月および11月）の決算時および償還時に、期中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した運用報告書を作成し、販売会社を通じてお渡しいたします。

委託会社が設定・運用を行うファンドについては、通常、月次で運用経過について記載したレポートが作成されています。最新のレポートは、販売会社または上記のホームページにおいて入手可能です。

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

本ファンドの信託期間は2005年6月2日から開始し、期限はありません。ただし、下記「(5) その他 a. 信託の終了」の場合には、信託は終了します。

(4)【計算期間】

本ファンドの計算期間は、毎月18日から翌月17日までとすることを原則とします。なお、第1計算期間は2005年6月2日から2005年7月19日までです。以上にかかわらず、この原則により各計算期間終了日に該当する日が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日以降の営業日で該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日までとします。

(5)【その他】

a. 信託の終了

(a) 受益権総口数の減少に伴う繰上償還

委託会社は、信託契約の一部を解約することにより、本ファンドの受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合には、受託銀行と協議のうえ、あらかじめ監督官庁に届け出ることにより、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。

委託会社は、かかる事項について、あらかじめ、これを公告し、かつ、知られたる受益者に対して書面を交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。繰上償還を行う場合は、下記(b)に定める受益者異議手続を準用します。

公告を行う場合は、日本経済新聞に掲載します。

(b) その他の事由による信託の終了

監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたとき、委託会社の登録取消、解散、業務廃止のとき（ただし、監督官庁が信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、信託は、下記b.に記載する受益者の異議により約款変更ができない場合を除き、当該投資信託委託会社と受託銀行との間において存続します。）、受託銀行が信託業務を営む銀行でなくなったとき（ただし、他の信託銀行が受託者の業務を引き継ぐときを除きます。）、受託銀行の辞任または解任に際し委託会社が新受託者を選任できないときは（新受託者の選任を行う場合は、下記b.に定める手続を準用します。）、委託会社は、あらかじめ監督官庁に届出のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させます。なお、受託銀行は、委託会社の承諾を受けて受託者の任務を辞任することができます。受託銀行が受託者を辞任したときは、委託会社は新受託者を選任します。また、委託会社は信託約款に定める場合で、受益者の利益のため必要と認めるときは、法令に従い受託銀行を解任することができます。

また、委託会社は、信託期間中において、信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、または正当な理由があるときは、受託銀行と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。委託会社は、かかる事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を信託契約に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。かかる公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。かかる一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、信託契約の解約をしません。委託会社は、信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。以上は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、一定の期間が1ヵ月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。

公告を行う場合は、日本経済新聞に掲載します。

b. 約款変更

委託会社は、監督官庁の命令があったとき、受益者の利益のため必要と認めるとき、または正当な理由があるときは、受託銀行と合意のうえ、信託約款を変更することができます。あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。

委託会社は、変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託約款に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託約款に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。かかる公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。当該一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、信託約款の変更をしません。

委託会社は、信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

公告を行う場合は、日本経済新聞に掲載します。

c. その他の契約の変更

(a) 募集・販売契約

委託会社と販売会社との間の募集・販売契約は、当事者の別段の意思表示のない限り、1年ごとに自動的に更新されます。募集・販売契約は、当事者間の合意により変更することができます。その終了または変更は、必要に応じて運用報告書に記載する等の方法により受益者に対し通知を行う手配をしますが、必ずしもただちに受益者全員にこれを知らせるものではありません。

(b) 投資顧問契約

委託会社と投資顧問会社（GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポール）との間の投資顧問契約には期限の定めがありません。投資顧問契約は、当事者間の合意により変更することができます。投資顧問会社が法律に違反した場合、信託約款の違反となる運用の指図に関する権限の行使をした場合、本ファンドに重大な損失を生ぜしめた場合、またはその他の理由により委託会社が必要と認める場合には、委託会社は、運用の指図に関する権限の委託を中止し、または本ファンドに関する投資顧問契約上のサービスの中止または変更を投資顧問

会社に対して求めることができます。投資顧問契約の終了または変更は、その内容が重大なものについて、あらかじめ、これを公告し、かつ、知られたる受益者に対して書面を交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

公告を行う場合は、日本経済新聞に掲載します。

d. 反対者の買取請求権

上記 a. に規定する信託契約の解約または上記 b. に規定する信託約款の変更を行う場合において、上記 a. または上記 b. の一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、販売会社を通じ、受託銀行に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって公正な価額で買取るべき旨を請求することができます。

e. 委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

委託会社は、投資信託委託会社の事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、信託契約に関する事業を譲渡することがあります。

委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、信託契約に関する事業を承継させることがあります。

f. 信託業務の委託等

受託銀行は、委託会社と協議のうえ、信託業務の一部について、信託業法第22条第1項に定める信託業務の委託をするときは、以下に掲げる基準のすべてに適合するもの（受託銀行の利害関係人を含みます。）を委託先として選定します。

- ・委託先の信用力に照らし、継続的に委託業務の遂行に懸念がないこと
- ・委託先の委託業務に係る実績等に照らし、委託業務を確実に処理する能力があると認められること
- ・委託される信託財産に属する財産と自己の固有財産その他の財産とを区分する等の管理を行う体制が整備されていること
- ・内部管理に関する業務を適正に遂行するための体制が整備されていること

受託銀行は、上記に定める委託先の選定にあたっては、当該委託先が上記に掲げる基準に適合していることを確認するものとします。

上記にかかわらず、受託銀行は、次に掲げる業務（裁量性のないものに限ります。）を、受託銀行および委託会社が適当と認める者（受託銀行の利害関係人を含みます。）に委託することができるものとします。

- ・信託財産の保存に係る業務
- ・信託財産の性質を変えない範囲内において、その利用または改良を目的とする業務
- ・委託会社のための指図により信託財産の処分およびその他の信託の目的の達成のために必要な行為に係る業務
- ・受託銀行が行う業務の遂行にとって補助的な機能を有する行為

保管費用は、受益者の負担とし、信託財産中より支払います。

g. 混蔵寄託

金融機関または証券会社（金融商品取引法第28条第1項に規定する第一種金融商品取引業を行う者および外国の法令に準拠して設立された法人でこの者に類する者をいいます。以下本 g. において同じ。）から、売買代金および償還金等について円貨で約定し円貨で決済する取引により取得した外国において発行された譲渡性預金証書またはコマーシャル・ペーパーは、当該金融機関または証券会社が保管契約を締結した保管機関に当該金融機関または証券会社の名義で混蔵寄託できるものとします。

h. 信託財産の登記等および記載等の留保等

信託の登記または登録をすることができる信託財産については、信託の登記または登録をすることとします。ただし、受託銀行が認める場合は、信託の登記または登録を留保することがあります。

上記ただし書きにかかわらず、受益者保護のために委託会社または受託銀行が必要と認めるときは、速やかに登記または登録をするものとします。

信託財産に属する旨の記載または記録をすることができる信託財産については、信託財産に属する旨の記載または記録をするとともに、その計算を明らかにする方法により分別して管理するものとします。ただし、受託銀行が認める場合は、その計算を明らかにする方法により分別して管理することがあります。

動産（金銭を除きます。）については、外形上区別することができる方法によるほか、その計算を明らかにする方法により分別して管理することがあります。

i. 有価証券売却等の指図

委託会社は、信託財産に属するマザーファンドの受益証券に係る信託契約の一部解約の請求および有価証券の売却等の指図ができます。

j. 再投資の指図

委託会社は、上記の一部解約の代金、売却代金、有価証券に係る償還金等、株式の清算分配金、有価証券等に係る利子等、株式の配当金およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

4【受益者の権利等】

(1) 収益分配金の受領権に関する内容および権利行使の手続

収益分配金は、原則として本ファンドの毎計算期間の終了日から起算して5営業日までに販売会社を通じて、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者への支払いを開始します。

上記にかかわらず、自動けいぞく投資契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者に対しては、受託銀行が委託会社の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が販売会社に交付されます。この場合、販売会社は、自動けいぞく投資契約に基づき、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申込みに応じるものとします。当該取得申込みにより増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

販売会社は、受益者が自己に帰属する受益権の全部もしくは一部の口数について、あらかじめ計算期間を指定し、上記の収益分配金の再投資にかかる受益権の取得申込を中止することを申し出た場合においては、上記にかかわらず、当該受益権に帰属する収益分配金を当該計算期間終了のつど受益者に支払うことができます。

受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託銀行から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

(2) 償還金の受領権に関する内容および権利行使の手続

償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権総口数で除した額をいいます。以下同じ。）は、原則として信託終了日から起算して5営業日までに販売会社を通じて信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者への支払いを開始します。

受益者が、信託終了による償還金について支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託銀行から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

(3) 一部解約金の受領権に関する内容および権利行使の手続

一部解約金の受領権に関する内容および権利行使の手続については、前記「第2 管理及び運営 2 換金（解約）手続等」をご覧ください。

一部解約金は、受益者による一部解約の実行の請求日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じて受益者に支払います。

(4) 収益分配金、償還金および一部解約金の払い込みと支払いに関する受託銀行の免責

受託銀行は、収益分配金については支払開始日（一般コースの場合）および交付開始前（自動けいぞく投資コースの場合）までに、償還金については支払開始日までに、一部解約金については支払日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払い込みます。

受託銀行は、上記により委託会社の指定する預金口座等に収益分配金、償還金および一部解約金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

(5) 委託会社の免責

収益分配金、償還金および一部解約金の受益者への支払いについては、当該販売会社に対する支払いをもって委託会社は免責されるものとします。かかる支払いがなされた後は、当該収益分配金、償還金および一部解約金は、源泉徴収されるべき税額（および委託会社が一定期間経過後販売会社より回収した金額があればその金額）を除き、受益者の計算に属する金銭となります。

販売会社が収益分配金、償還金および一部解約金の受益者への支払いを怠ったことにより委託会社が損害を被った場合には、委託会社に過失がない場合に限り、受託銀行の承諾を得て委託会社は信託財産よりその損害の賠償を受けることができます。

(6) 換金（解約）手続等

前記「第2 管理及び運営 2 換金（解約）手続等」をご覧ください。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 本ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。

なお、財務諸表に掲載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 本ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。

- (3) 本ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（2012年5月18日から2012年11月19日まで）の財務諸表について、あらた監査法人による監査を受けております。

1 【財務諸表】
 【G S新成長国債券ファンド】
 (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 (2012年5月17日現在)	当期 (2012年11月19日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	15,481,393,983	14,192,431,435
未収入金	34,553,844	20,740,742
流動資産合計	15,515,947,827	14,213,172,177
資産合計	15,515,947,827	14,213,172,177
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	57,773,445	48,442,358
未払解約金	34,553,844	20,740,742
未払受託者報酬	1,270,710	1,268,752
未払委託者報酬	18,632,471	18,286,045
その他未払費用	476,018	397,826
流動負債合計	112,706,488	89,135,723
負債合計	112,706,488	89,135,723
純資産の部		
元本等		
元本	23,109,378,036	19,376,943,583
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△7,706,136,697	△5,252,907,129
（分配準備積立金）	89,617,389	106,994,261
元本等合計	15,403,241,339	14,124,036,454
純資産合計	15,403,241,339	14,124,036,454
負債純資産合計	15,515,947,827	14,213,172,177

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日	当期 自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日
営業収益		
有価証券売買等損益	1,648,682,335	1,728,405,404
営業収益合計	1,648,682,335	1,728,405,404
営業費用		
受託者報酬	7,963,815	7,350,545
委託者報酬	117,436,140	106,481,684
その他費用	2,549,834	2,322,527
営業費用合計	127,949,789	116,154,756
営業利益又は営業損失（△）	1,520,732,546	1,612,250,648
経常利益又は経常損失（△）	1,520,732,546	1,612,250,648
当期純利益又は当期純損失（△）	1,520,732,546	1,612,250,648
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	44,506,932	4,357,942
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△10,576,381,194	△7,706,136,697
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,782,025,471	1,170,790,611
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,782,025,471	1,170,790,611
剰余金減少額又は欠損金増加額	15,039,175	10,436,145
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	15,039,175	10,436,145
分配金	372,967,413	315,017,604
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△7,706,136,697	△5,252,907,129

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	前期 自 2011年11月18日 至 2012年 5 月17日	当期 自 2012年 5 月18日 至 2012年11月19日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券 同左
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	_____	特定期間の取扱い 2012年11月17日及びその翌日が休業日のため、当特定期間末日は2012年11月19日としております。

(貸借対照表に関する注記)

区分	前期 (2012年 5 月17日現在)	当期 (2012年11月19日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	28,042,914,284円	23,109,378,036円
期中追加設定元本額	46,117,821円	33,719,785円
期中一部解約元本額	4,979,654,069円	3,766,154,238円
2. 受益権の総数	23,109,378,036口	19,376,943,583口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は7,706,136,697円であります。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は5,252,907,129円であります。

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区分	前期 自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日	当期 自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日
分配金の計算過程		
	2011年11月18日から 2011年12月19日までの計算期間	2012年 5月18日から 2012年 6月18日までの計算期間
費用控除後の配当等収益額	106,247,679円	56,900,529円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価 証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	281,554,698円	235,660,469円
分配準備積立金額	45,842,310円	87,403,008円
本ファンドの分配対象収益額	433,644,687円	379,964,006円
本ファンドの期末残存口数	26,959,875,049口	22,543,149,224口
1口当たり収益分配対象額	0.016084円	0.016854円
1口当たり分配金額	0.0025円	0.0025円
収益分配金金額	67,399,687円	56,357,873円
	2011年12月20日から 2012年 1月17日までの計算期間	2012年 6月19日から 2012年 7月17日までの計算期間
費用控除後の配当等収益額	55,553,320円	67,083,281円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価 証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	273,278,488円	230,364,056円
分配準備積立金額	82,182,943円	85,934,141円
本ファンドの分配対象収益額	411,014,751円	383,381,478円
本ファンドの期末残存口数	26,165,681,628口	22,033,342,936口
1口当たり収益分配対象額	0.015708円	0.017400円
1口当たり分配金額	0.0025円	0.0025円
収益分配金金額	65,414,204円	55,083,357円
	2012年 1月18日から 2012年 2月17日までの計算期間	2012年 7月18日から 2012年 8月17日までの計算期間
費用控除後の配当等収益額	75,855,188円	54,083,414円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価 証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	262,554,334円	222,767,972円
分配準備積立金額	69,470,396円	94,657,816円
本ファンドの分配対象収益額	407,879,918円	371,509,202円
本ファンドの期末残存口数	25,137,457,595口	21,303,085,605口
1口当たり収益分配対象額	0.016225円	0.017439円
1口当たり分配金額	0.0025円	0.0025円
収益分配金金額	62,843,643円	53,257,714円

区分	前期 自 2011年11月18日 至 2012年 5 月17日	当期 自 2012年 5 月18日 至 2012年11月19日
	2012年 2 月18日から 2012年 3 月19日までの計算期間	2012年 8 月18日から 2012年 9 月18日までの計算期間
費用控除後の配当等収益額	83,622,455円	57,047,117円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	252,621,814円	216,295,856円
分配準備積立金額	79,281,427円	92,678,967円
本ファンドの分配対象収益額	415,525,696円	366,021,940円
本ファンドの期末残存口数	24,178,268,320口	20,681,690,788口
1口当たり収益分配対象額	0.017185円	0.017697円
1口当たり分配金額	0.0025円	0.0025円
収益分配金金額	60,445,670円	51,704,226円
	2012年 3 月20日から 2012年 4 月17日までの計算期間	2012年 9 月19日から 2012年10月17日までの計算期間
費用控除後の配当等収益額	56,733,812円	54,422,242円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	247,036,314円	209,902,427円
分配準備積立金額	100,104,822円	95,104,466円
本ファンドの分配対象収益額	403,874,948円	359,429,135円
本ファンドの期末残存口数	23,636,305,835口	20,068,830,567口
1口当たり収益分配対象額	0.017087円	0.017909円
1口当たり分配金額	0.0025円	0.0025円
収益分配金金額	59,090,764円	50,172,076円
	2012年 4 月18日から 2012年 5 月17日までの計算期間	2012年10月18日から 2012年11月19日までの計算期間
費用控除後の配当等収益額	51,839,291円	59,550,400円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	241,552,608円	202,724,360円
分配準備積立金額	95,551,543円	95,886,219円
本ファンドの分配対象収益額	388,943,442円	358,160,979円
本ファンドの期末残存口数	23,109,378,036口	19,376,943,583口
1口当たり収益分配対象額	0.016830円	0.018483円
1口当たり分配金額	0.0025円	0.0025円
収益分配金金額	57,773,445円	48,442,358円

（注）上記の費用控除後の配当等収益額は本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含んでおります。

（金融商品に関する注記）

Ⅰ 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日	当期 自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日
1. 金融商品に対する取組方針	本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	本ファンドが保有する主な金融資産は親投資信託受益証券であり、売買目的で保有しております。 投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等を実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。 マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。 リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。	同左

Ⅱ 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日	当期 自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。	(1) 有価証券以外の金融商品 同左 (2) 有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	前期 (2012年5月17日現在)	当期 (2012年11月19日現在)
	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	△94,860,099	367,749,725
合計	△94,860,099	367,749,725

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

区分	前期 (2012年5月17日現在)	当期 (2012年11月19日現在)
1口当たり純資産額	0.6665円	0.7289円

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

① 有価証券明細表

（ア）株式

該当事項はありません。

（イ）株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円	親投資信託 受益証券	G S新成長国債券マザーファンド	9,193,775,627	14,192,431,435	
合計			9,193,775,627	14,192,431,435	

② デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

参考情報

本ファンドは、「G S新成長国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券です。

同親投資信託の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	(2012年5月17日現在)	(2012年11月19日現在)
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
預金		1,179,255,160	618,026,435
コール・ローン		9,962,228	10,057,243
国債証券		11,268,525,692	9,172,660,956
特殊債券		1,554,229,400	1,953,062,541
社債券		1,767,425,725	2,659,135,811
派生商品評価勘定		153,809,093	43,029,792
未収入金		19,962,986	128,648,239
未収利息		178,387,206	146,194,009
前払費用		13,084,244	16,852,803
差入委託証拠金		—	9,139,447
流動資産合計		16,144,641,734	14,756,807,276
資産合計		16,144,641,734	14,756,807,276
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		81,088,960	36,066,671
前受金		1,480,116	60,499
未払金		130,568,457	162,221,864
未払解約金		37,504,896	23,529,204
流動負債合計		250,642,429	221,878,238
負債合計		250,642,429	221,878,238
純資産の部			
元本等			
元本		11,593,732,666	9,415,593,654
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（△）		4,300,266,639	5,119,335,384
元本等合計		15,893,999,305	14,534,929,038
純資産合計		15,893,999,305	14,534,929,038
負債純資産合計		16,144,641,734	14,756,807,276

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 2011年11月18日 至 2012年 5 月17日	自 2012年 5 月18日 至 2012年11月19日
1. 有価証券の評価基準及び 評価方法	国債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、法令及び社団法人投資 信託協会規則に従い、時価評価しており ます。	国債証券、特殊債券、社債券 同左
2. デリバティブの評価基準 及び評価方法	(1) 為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが 国における対顧客先物売買相場の仲値 によって計算しております。 (2) 先物取引 個別法に基づき、法令及び社団法人投 資信託協会規則に従い、時価評価して おります。	(1) 為替予約取引 同左 (2) 先物取引 同左
3. その他財務諸表作成のた めの基本となる重要な事 項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産 の計算に関する規則」（平成12年総理府 令第133号）第60条に基づき、取引発生時 の外国通貨の額をもって記録する方法を 採用しております。 但し、同61条に基づき、外国通貨の売却 時において、当該外国通貨に加えて、外貨 建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損 益勘定の前日の外貨建純資産額に対する 当該売却外国通貨の割合相当額を当該外 国通貨の売却時の外国為替相場等で円換 算し、前日の外貨基金勘定に対する円換 算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建 資産等の外国投資勘定と、円換算した外 貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益 とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

（貸借対照表に関する注記）

区分	(2012年 5 月17日現在)	(2012年11月19日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	14,388,614,369円	11,593,732,666円
期中追加設定元本額	141,854,041円	34,010,463円
期中一部解約元本額	2,936,735,744円	2,212,149,475円
期末元本額	11,593,732,666円	9,415,593,654円
元本の内訳		
G S新成長国債券ファンド	11,292,868,906円	9,193,775,627円
ゴールドマン・サックス／F O F s用 新興国債F（適格機関投資家限定）	300,863,760円	221,818,027円
2. 受益権の総数	11,593,732,666口	9,415,593,654口

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

区分	自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日	自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日
1. 金融商品に対する取組方針	本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資ならびにデリバティブ取引を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	本ファンドが保有する主な金融資産は国債証券、特殊債券、社債券であり、売買目的で保有しております。 デリバティブ取引には、通貨関連では為替予約取引、債券関連では先物取引、金利関連では先物取引が含まれております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避する目的で利用しています。 投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等に実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。 マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。 リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。	同左

Ⅱ 金融商品の時価等に関する事項

区分	自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日	自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。なお、市場価格がない場合には、同種商品間の価格比較、同一銘柄の価格推移時系列比較、市場公表指標との整合分析等、定期的な状況確認を踏まえ、外部業者から入手する価格に基づく価額を合理的に算定された価額としております。 (3) デリバティブ取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」の「取引の時価等に関する事項」に記載しております。	(1) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2) 有価証券 同左 (3) デリバティブ取引 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	(2012年5月17日現在)	(2012年11月19日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
国債証券	210,746,468	642,904,028
特殊債券	53,894,214	90,120,953
社債券	33,513,534	87,313,656
合計	298,154,216	820,338,637

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

①ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 債券関連

区分	種類	(2012年5月17日現在)				(2012年11月19日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場 取引	債券先物取引								
	買建	2,992,671,525	—	3,031,682,751	39,011,226	1,412,053,053	—	1,420,066,752	8,013,699
	売建	470,739,215	—	486,642,709	△15,903,494	272,424,797	—	272,760,778	△335,981
	合計	3,463,410,740	—	3,518,325,460	23,107,732	1,684,477,850	—	1,692,827,530	7,677,718

(2) 通貨関連

区分	種類	(2012年5月17日現在)				(2012年11月19日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引	為替予約取引								
	買建米ドル	1,856,615,019	—	1,815,909,447	△40,705,572	958,032,736	—	986,755,700	28,722,964
	メキシコペソ	273,478,409	—	260,971,788	△12,506,621	230,879,342	—	237,172,471	6,293,129
	トルコリラ	146,619,179	—	145,029,986	△1,589,193	—	—	—	—
	売建米ドル	511,492,844	—	508,166,229	3,326,615	312,336,886	—	322,801,993	△10,465,107
	メキシコペソ	872,861,698	—	812,815,472	60,046,226	466,068,540	—	477,604,890	△11,536,350
	ユーロ	537,476,579	—	529,655,536	7,821,043	491,964,196	—	505,693,429	△13,729,233
	トルコリラ	153,783,511	—	145,029,986	8,753,525	—	—	—	—
	南アフリカランド	292,493,231	—	262,998,115	29,495,116	—	—	—	—
合計		4,644,820,470	—	4,480,576,559	54,641,139	2,459,281,700	—	2,530,028,483	△714,597

(3) 金利関連

区分	種類	(2012年5月17日現在)				(2012年11月19日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引	金利先物取引								
	買建	2,761,215,077	2,761,215,077	2,766,027,633	4,812,556	—	—	—	—
	売建	2,742,980,641	2,742,980,641	2,752,821,935	△9,841,294	—	—	—	—
合計		5,504,195,718	5,504,195,718	5,518,849,568	△5,028,738	—	—	—	—

(注) 時価の算定方法

・先物取引

1. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。
2. 主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。2つ以上の取引所に上場されていて、かつ

当該取引所相互間で反対売買が可能な先物取引について、取引量を勘案して評価を行う取引所を決定しております。

・為替予約取引

1. 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

(1) 予約為替の受渡し日（以下「当該日」という。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2) 当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

① 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

② 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

2. 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客相場の仲値により評価しております。

②ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

区分	自 2011年11月18日 至 2012年 5月17日			自 2012年 5月18日 至 2012年11月19日		
関連当事者の名称 (本ファンドとの関係)	取引の 内容	取引の種類別の 取引金額	取引により発生した債権又は 債務に係る主な項目別の当該 計算期間の末日における残高	取引の 内容	取引の種類別の 取引金額	取引により発生した債権又は 債務に係る主な項目別の当該 計算期間の末日における残高
ゴールドマン・サックス 証券株式会社 (投資信託財産の運用の 指図を行う投資信託委託 会社の利害関係人等)	有価証券 等売買手 数料	為替 一円	—	有価証券 等売買手 数料	為替 一円	—

（注）取引条件及び取引条件の決定方針

社内規定に基づき取引業者の選定を行っております。各資産の売買においては、社内基準に基づき最良執行を行っており、個々の取引条件はその結果として決定されております。

立会外取引、市場外取引、相対取引等の場合は、原則として複数の取引業者より価格提示を受け、もしくは提示価格と市場価格の比較を行うことにより、最良条件を提示する取引業者と取引を行っており、一般の取引と条件が同様と判断しております。当該取引の売買手数料相当額については、取引慣行上、取引総額に含まれるため、金額を記載しておりません。

（1口当たり情報）

区分	(2012年 5月17日現在)	(2012年11月19日現在)
1口当たり純資産額	1.3709円	1.5437円

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

① 有価証券明細表

(ア) 株式

該当事項はありません。

(イ) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	国債証券	ARAB REPUBLIC OF 5.75%	930,000.00	955,575.00	
		ARAB REPUBLIC OF 6.875%	100,000.00	98,500.00	
		ARGENT-GDP (FLAT)	59,500.00	6,366.50	
		BANCO CENTRAL CO 9.995%	20,000.00	27,600.00	
		BRAZIL REP OF 2.625%	950,000.00	958,075.00	
		BRAZIL REP OF 8.25%	1,140,000.00	1,903,800.00	
		COLOMBIA REP OF 6.125%	270,000.00	370,575.00	
		COLOMBIA REP OF 7.375%	570,000.00	708,225.00	
		COLOMBIA REP OF 7.375%	2,375,000.00	3,135,000.00	
		COLOMBIA REP OF 7.375%	1,940,000.00	3,011,850.00	
		DOMINICAN REP 7.5%	2,500,000.00	2,906,250.00	
		DOMINICAN REP 8.625%(SI)	1,735,000.00	2,047,300.00	
		GABONESE REP 8.2%	570,000.00	688,275.00	
		GHANA REP OF 8.5%	490,000.00	564,112.50	
		GOVERNMENT OF BELI SI ST	390,000.00	156,000.00	
		INDONESIA REP 7.75%	7,217,000.00	10,879,627.50	
		IVORY COAST SINK STEP	5,454,000.00	4,799,520.00	
		MALAYSIA 4.646%	570,000.00	661,941.00	
		MEXICAN UTD STS 3.625%	10,000.00	10,975.00	
		MEXICAN UTD STS 4.75%	1,580,000.00	1,785,400.00	
		MEXICAN UTD STS 5.625%	480,000.00	559,200.00	
		MEXICAN UTD STS 5.75%	320,000.00	384,800.00	
		MEXICAN UTD STS 5.875%	1,350,000.00	1,425,600.00	
		MEXICAN UTD STS 6.375%	940,000.00	944,700.00	
		MEXICAN UTD STS 6.75%	1,750,000.00	2,506,875.00	
		PANAMA 6.7% (SINK)	1,020,000.00	1,448,400.00	
		PANAMA 7.25%	460,000.00	523,250.00	
		PANAMA 8.875%	305,000.00	494,100.00	
		PANAMA 9.375%	1,740,000.00	2,979,750.00	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
		PHILIPPINES REP 10.625%	800,000.00	1,424,000.00	
		PHILIPPINES REP 7.5% (S)	1,145,000.00	1,674,562.50	
		PHILIPPINES REP 7.75%	950,000.00	1,496,250.00	
		PHILIPPINES(REP) 9.5%	3,920,000.00	6,497,400.00	
		REP OF ARGE VAR (FLAT)	2,200,000.00	239,800.00	
		REP OF IRAQ 5.8% (SINK)	1,990,000.00	1,873,087.50	
		REP OF PAKISTAN 6.875%	915,000.00	823,500.00	
		REP OF PAKISTAN 7.875%	100,000.00	72,000.00	
		REPUBLIC OF BELA 8.75%	1,253,000.00	1,231,072.50	
		REPUBLIC OF CHIL 3.25%	350,000.00	381,500.00	
		REPUBLIC OF CHIL 3.625%	300,000.00	296,250.00	
		REPUBLIC OF CHIL 3.875%	1,360,000.00	1,540,200.00	
		REPUBLIC OF COST 4.25%	1,220,000.00	1,219,865.80	
		REPUBLIC OF GUAT 5.75%	460,000.00	517,500.00	
		REPUBLIC OF KORE 7.125%	1,218,000.00	1,598,212.70	
		REPUBLIC OF LITH 6.625%	200,000.00	252,000.00	
		REPUBLIC OF NIGERIA	1,240,000.00	1,435,300.00	
		REPUBLIC OF PERU 8.75%	2,333,000.00	4,059,420.00	
		REPUBLIC OF SRI 5.875%	200,000.00	212,250.00	
		REPUBLIC OF SRI 6.25%	450,000.00	488,250.00	
		ROMANIA 6.75%	1,130,000.00	1,310,800.00	
		RUSSIA (FLOAT/SINK)	817,625.00	1,028,163.43	
		RUSSIA 4.5%	3,600,000.00	4,014,000.00	
		RUSSIA 5%	300,000.00	346,500.00	
		SERBIA REP (SINK/STEP)	536,000.13	536,000.13	
		SERBIA REP 7.25%	940,000.00	1,034,000.00	
		TURKEY REP OF 5.625%	3,348,000.00	3,967,380.00	
		TURKEY REP OF 6.25%	2,730,000.00	3,405,675.00	
		TURKEY REP OF 6.75%	1,290,000.00	1,559,287.50	
		TURKEY REP OF 7.375%	300,000.00	402,000.00	
		UKRAINE GOVT 9.25%	2,300,000.00	2,455,250.00	
		URUGUAY 7.625% (SINK)	476,000.00	738,990.00	
		URUGUAY 8% (SINK)	2,065,935.00	3,016,265.10	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
	特殊債券	VENEZUELA 11.75%	390,000.00	388,050.00	
		VENEZUELA 7.65%	2,067,000.00	1,591,590.00	
		VENEZUELA 8.25%	2,420,000.00	1,966,250.00	
		VENEZUELA 9%	2,540,000.00	2,197,100.00	
		VIETNAM (REP OF) 6.875%	310,000.00	340,612.50	
		BANCO DEL ESTADO 4.125%	740,000.00	802,900.00	
		BANCO DEL ESTADO 4.125%	480,000.00	521,634.24	
		BANCO DO BRASIL 3.875%	2,130,000.00	2,098,050.00	
		CCL FINANCE LTD 9.5%	842,000.00	943,040.00	
		CODELCO INC 3.75%	510,000.00	549,035.40	
		CODELCO INC 4.25%	340,000.00	340,669.80	
		CODELCO INC 6.15%	464,000.00	594,912.96	
		E.CL SA 5.625%	490,000.00	548,319.80	
		ENERGY DEVELOPME 6.5%	485,000.00	531,075.00	
		FINANCING OF INF 8.375%	580,000.00	551,000.00	
		GAZ CAPITAL SA 9.25%	246,000.00	318,570.00	
		GAZPR INTL SA(SI) 7.201%	120,276.70	133,807.82	
		GAZPROM (GAZ CAP 5.999%	1,570,000.00	1,762,325.00	
		KAZAKHSTAN TEMIR 6.375%	250,000.00	295,000.00	
		KAZAKHSTAN TEMIR 6.95%	470,000.00	559,300.00	
		KAZAKHSTAN TEMIR 6.95%	280,000.00	336,593.88	
		KAZATOMPROM 6.25%	710,000.00	772,125.00	
		KAZMUNAIGAZ FINA 11.75%	860,000.00	1,034,150.00	
		KAZMUNAIGAZ FINA 6.375%	1,100,000.00	1,303,500.00	
		KAZMUNAIGAZ FINA 7%	460,000.00	557,750.00	
		NTPC LTD 4.75%	210,000.00	211,134.00	
		PEMEX PROJ FDG M 6.625%	1,630,000.00	2,049,725.00	
		PETROBRAS INTL F 5.375%	960,000.00	1,068,643.20	
		PETROBRAS INTL F 5.75%	630,000.00	708,693.30	
		PETROLEOS DE VEN 5.25%	2,750,400.00	2,159,064.00	
		PETROLEOS DE VEN 5.375%	900,000.00	562,500.00	
		PETROLEOS DE VEN 9%	270,000.00	227,475.00	
		PETROLEOS MEXICA 5.5%	120,000.00	130,800.00	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
	社債券	PETROLEOS MEXICA 8%	198,000.00	259,875.00	
		TRANSNET SOC LTD 4%	650,000.00	640,250.00	
		TURK EXIMBANK 5.875%	330,000.00	371,250.00	
		VIMPELCOM (VIP F 7.748%	950,000.00	1,035,500.00	
		AEROPUERTOS DOMI 9.25%	900,000.00	915,750.00	
		AES GENER SA 5.25%	560,000.00	621,600.00	
		AMERICA MOVIL SA 3.125%	550,000.00	559,641.50	
		ANADOLU EFES 3.375%	740,000.00	719,650.00	
		ARCOS DORADOS SA 7.5%	283,000.00	308,470.00	
		BANCO DE BOGOTA 5%	960,000.00	1,024,800.00	
		BANCO DE CRED E 3%	1,510,000.00	1,510,000.00	
		BANCO DE CRED E 3%	260,000.00	260,007.28	
		BANCO EST RIO GR 7.375%	510,000.00	581,400.00	
		BANCO EST RIO GR 7.375%	680,000.00	764,474.36	
		BANCO ESTADO 0.21%	175,000.00	175,018.37	
		BANCO SANTANDER 3.875%	480,000.00	487,200.00	
		BANCO SANTANDER 3.875%	150,000.00	152,584.50	
		BANCOLOMBIA SA 5.125%	640,000.00	654,400.00	
		BANCOLOMBIA SA 5.95%	260,000.00	298,350.00	
		BERAU CAPITAL RE 12.5%	100,000.00	103,750.00	
		BERAU COAL ENERG 7.25%	400,000.00	362,000.00	
		CEMEX FINANCE LL 9.375%	340,000.00	353,317.80	
		CHINA RESOURCES 4.5%	470,000.00	513,898.00	
		CNTL AMR BOTTLIN 6.75%	140,000.00	152,250.00	
		COLOMBIA TELECOM 5.375%	360,000.00	358,650.00	
		CORP ANDINA FOM 3.75%	2,498,000.00	2,622,900.00	
		CORP ANDINA FOM 4.375%	510,000.00	552,075.00	
		CORP FINANCI DE 4.75%	400,000.00	445,752.00	
		CORP LINDLEY SA 6.75%	310,000.00	356,500.00	
		DEV BANK PHILIPP 5.5%	200,000.00	228,000.00	
		DIGICEL GROUP 8.25%	450,000.00	470,812.50	
		DIGICEL GROUP 8.25%	200,000.00	212,000.00	
		EMPRESA DE ENERG 6.125%	1,450,000.00	1,629,437.50	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
		EMPRESAS PUBLIC 7.625%	150,000.00	189,375.00	
		ENN ENERGY HOLDI 6%	495,000.00	570,580.51	
		GAZPROM NEFT (GP 4.375%	490,000.00	488,775.00	
		GEO MAQUINARIA 9.625%	439,875.00	413,436.75	
		HRVATSKA ELECTRO 6%	370,000.00	378,325.00	
		KOREA HYDRO & NU 3%	280,000.00	280,448.00	
		LISTRINDO CAPITA 6.95%	600,000.00	660,000.00	
		MEXICHEM SAB DE 4.875%	230,000.00	238,050.00	
		MTS INTL FUNDING 8.625%	1,460,000.00	1,795,800.00	
		ODEBRECHT FINANC 7.125%	200,000.00	227,847.00	
		OGX AUSTRIA GMBH 8.375%	320,000.00	265,600.00	
		PERUSAHAAN LISTR 5.25%	210,000.00	211,575.00	
		RAS LAFFAN (SINK) 5.298%	917,125.00	1,034,058.43	
		SBERBANK (SB CAP 5.125%	320,000.00	318,400.00	
		SM INVESTMENTS C 4.25%	220,000.00	222,750.00	
		STATE OIL CO OF 5.45%	600,000.00	645,000.00	
		TALENT YIELD INV 4.5%	900,000.00	973,170.00	
		TNK-BP FINANCE S 7.25%	1,260,000.00	1,499,400.00	
		TNK-BP FINANCE S 7.875%	450,000.00	535,500.00	
		TRANSPRTDRA DE G 5.7%	340,000.00	375,700.00	
		TURK EXIMBANK 5.375%	750,000.00	811,875.00	
		TURKIYE HALK BAN 4.875%	900,000.00	940,500.00	
		TURKIYE IS BANKASI 6%	390,000.00	412,425.00	
		VOLCAN CIA MINER 5.375%	154,000.00	164,395.00	
		ZIJIN INTL FINAN 4.25%	550,000.00	583,660.00	
小計				160,181,980.06	
				(13,046,822,275)	
メキシコペソ	国債証券	MEXICAN CETES 0%	446,981,400.00	43,940,953.50	
小計				43,940,953.50	
				(273,312,730)	
ユーロ	国債証券	ARGENT-GDP (Var/FLAT)	12,717,000.00	1,144,530.00	
		REP OF ARGE SI/PIK 7.82%	1,341,603.50	667,447.74	
		REPUBLIC OF ARGE SINK V	1,275,187.49	631,217.80	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
小計	社債券	REPUBLIC OF HUNG 3.5%	350,000.00	333,812.50	
		REPUBLIC OF HUNG 3.875%	82,000.00	73,800.00	
		REPUBLIC OF HUNG 4.375%	670,000.00	647,387.50	
		ROMANIA 4.875%	180,000.00	179,100.00	
		PEERMONT GLOBAL 7.75%	830,000.00	796,800.00	
				4,474,095.54	
				(464,724,303)	
合計				13,784,859,308	
				(13,784,859,308)	

（注）１．通貨種類毎の小計欄の（ ）内は、邦貨換算額であります。

２．合計金額欄の（ ）内は、外貨建有価証券に係るもので、内書きであります。

３．外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券時価比率	合計金額に対する比率
米ドル	国債証券 67銘柄	65.3%	94.6%
	特殊債券 32銘柄	15.0%	
	社債券 54銘柄	19.7%	
メキシコペソ	国債証券 1銘柄	100.0%	2.0%
ユーロ	国債証券 7銘柄	82.2%	3.4%
	社債券 1銘柄	17.8%	

② デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「（デリバティブ取引等に関する注記）」の「取引の時価等に関する事項」に記載されております。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

（2012年11月30日現在）

I 資産総額	14,275,941,104円
II 負債総額	60,016,126円
III 純資産総額(I－II)	14,215,924,978円
IV 発行済口数	19,100,048,146口
V 1口当たり純資産額(III／IV)	0.7443円

参考情報

< G S 新成長国債券マザーファンド >

純資産額計算書

（2012年11月30日現在）

I 資産総額	15,116,952,836円
II 負債総額	551,530,987円
III 純資産総額(I－II)	14,565,421,849円
IV 発行済口数	9,236,102,560口
V 1口当たり純資産額(III／IV)	1.5770円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

a. 受益権の名義書換

該当事項はありません。

b. 受益者に対する特典

該当事項はありません。

c. 受益権の譲渡制限

該当事項はありません。ただし、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託銀行に対抗することができません。

d. その他

本ファンドの受益権は振替受益権であり、委託会社は、やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

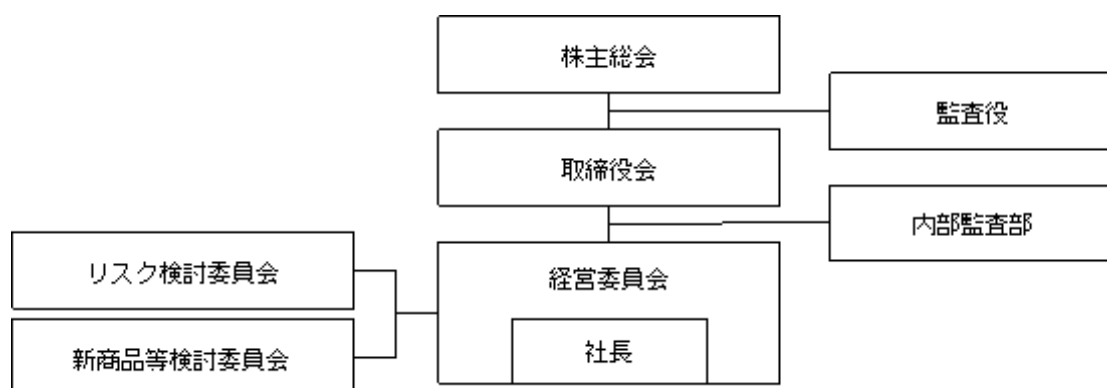
1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額（本書提出日現在）

- ① 資本金の額：金4億9,000万円
- ② 発行する株式の総数：8,000株
- ③ 発行済株式の総数：6,400株
- ④ 最近5年間ににおける主な資本の額の増減：該当事項はありません。

(2) 委託会社等の機構

- ① 委託会社の業務運営の組織体系は以下の通りです。



経営の意思決定機関として取締役会をおきます。取締役会は、委託会社の業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務を監督します。代表取締役である社長は、委託会社を代表し、全般の業務執行について指揮統括します。取締役は、委嘱された業務の執行にあたり、また、社長に事故あるときにその職務を代行します。

委託会社の業務執行にかかる重要事項を審議する機関として経営委員会をおきます。経営委員会は、取締役会に直属し、定時取締役会が開催されない期間においては、委託会社の業務執行に関して法令により認められる限度で取締役会が有する一切の権限を保持し、執行します（取締役会の専権事項を除きます。）。

リスク検討委員会は、経営委員会の監督の下に、当社の一切の活動における法令遵守、内部統制、オペレーショナル・リスク、システム・リスク等のリスク、及び関連するレピュテーション上の問題を監視・監督し、当社の経営理念に沿った各種規定及び業務手順が整備されていることを確保するため、権限を行使することができます。また、リスク検討委員会は、適用法令、協会規則、投資信託約款、顧客との運用ガイドラインを遵守するとともに、善良なる管理者としての注意義務および忠実義務の観点から受託者としての責任を遵守するため（議決権行使に関する方針を含みます。）、必要な報告徴収、調査、検討、決定等を行うことができます。

新商品等検討委員会は、経営委員会の監督の下に、新商品等検討委員会規則に基づき、新商品等に関する正式な検討プロセスを維持することに責任を持ちます。

監査役は、委託会社の会計監査および業務監査を行います。業務の執行は、取締役が行います。

② 投資運用の意思決定機構

委託会社における投資運用の意思決定は運用本部所属の各部において行われます。運用本部は以下のような部によって構成されています。運用本部の各部では株式運用部長、計量運用部長および債券通貨運用部長がその所属員を指揮監督し、部の業務を統括しています。株式運用部は、日本株の運用を、計量運用部は、計量運用によるタイミング戦略、株式国別配分、債券国別配分および通貨配分などの各戦略をはじめとする多資産クラスの運用ならびに計量運用手法による株式の運用を、債券通貨運用部は、債券および通貨の運用をそれぞれ担当します。それぞれの運用部は各資産クラスの運用について独立した責任と権限をもち、投資運用に関する意思決定を行います。また、運用本部には、上記のほかに、戦略株式運用部、運用投資戦略部、オルタナティブ・インベストメンツ・アンド・マネージャー・セレクション部、不動産運用部およびマルチプロダクト・ファンド室があります。



投資運用の意思決定には、委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用グループのリソースが活用されます。委託会社の運用本部はゴールドマン・サックスの資産運用グループのポートフォリオ・マネジメント・チームの構成員として、他の構成員たる様々な地域のポートフォリオ・マネジメント・チームとグローバルな情報交換を行っています。

2【事業の内容及び営業の概況】

① 事業の内容

投資信託及び投資法人に関する法律に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその投資運用業務および投資助言業務を行っています。また、金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業務および第二種金融商品取引業務を行っています。

② 委託会社の運用するファンド

2012年12月末現在、委託会社が運用する証券投資信託は以下のとおりです（親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額（円）
追加型株式投資信託	100	1,196,436,044,503
合計	100	1,196,436,044,503

3【委託会社等の経理状況】

1. 財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条及び第57条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第17期事業年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の財務諸表について、あらた監査法人により監査を受けております。また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第18期事業年度の中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の中間財務諸表について、あらた監査法人の中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

期別		第16期 (平成23年 3月31日現在)			第17期 (平成24年 3月31日現在)		
資産の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
流動資産							
現金・預金			5,260,116			3,285,446	
有価証券			11,996,812			11,797,976	
支払委託金			26			25	
収益分配金		26			25		
前払費用			12,310			468	
未収入金	※ 1		—			406,284	
未収委託者報酬			1,179,339			1,064,467	
未収運用受託報酬			974,480			1,026,201	
未収収益	※ 1		503,943			159,925	
立替金			84,372			34,566	
繰延税金資産			441,173			489,782	
流動資産計			20,452,575	87.7		18,265,146	90.9
固定資産							
無形固定資産			133,057			694	
ソフトウェア		132,362			—		
その他の無形固定資産		694			694		
投資その他の資産			2,748,369			1,830,583	
投資有価証券		1,087,459			684,540		
長期差入保証金		—			10,000		
繰延税金資産		1,636,928			1,135,876		
その他の投資等		23,981			166		
固定資産計			2,881,426	12.3		1,831,278	9.1
資産合計			23,334,002	100.0		20,096,424	100.0

期別		第16期 (平成23年 3 月31日現在)			第17期 (平成24年 3 月31日現在)		
負債の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
流動負債							
預り金			305			82	
未払金			500,286			853,668	
未払収益分配金		125			151		
未払償還金		72			72		
未払手数料		500,088			447,157		
その他未払金		—			406,287		
未払費用	※ 1		2,176,374			1,998,271	
未払法人税等			629,052			190,726	
未払消費税等			32,752			30,533	
流動負債計			3,338,771	14.3		3,073,282	15.3
固定負債							
長期未払費用	※ 1		3,631,711			2,945,495	
役員退職慰労引当金			875,845			222,911	
その他固定負債			650			650	
固定負債計			4,508,207	19.3		3,169,057	15.8
特別法上の準備金							
金融商品取引責任準備金			0			—	
特別法上の準備金計			0	0.0		—	0.0
負債合計			7,846,979	33.6		6,242,339	31.1

有価証券評価等（内閣府）

期別		第16期 （平成23年 3 月31日現在）			第17期 （平成24年 3 月31日現在）		
純資産の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
株主資本							
資本金			490,000			490,000	
資本剰余金			390,000			390,000	
資本準備金		390,000			390,000		
利益剰余金			14,559,911			12,921,678	
その他利益剰余金		14,559,911			12,921,678		
繰越利益剰余金		14,559,911			12,921,678		
株主資本合計			15,439,911	66.2		13,801,678	68.7
評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金		47,111			52,406		
評価・換算差額等合計			47,111	0.2		52,406	0.3
純資産合計			15,487,022	66.4		13,854,085	68.9
負債・純資産合計			23,334,002	100.0		20,096,424	100.0

(2) 【損益計算書】

期別			第16期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日			第17期 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日		
科目		注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	千円	千円	%	千円	千円	%
		委託者報酬		11,155,324			9,262,739	
		運用受託報酬	※ 2	6,524,566			5,636,349	
		その他営業収益	※ 2	5,720,903			5,514,145	
		営業収益計		23,400,795	100.0		20,413,234	100.0
		営業費用						
		支払手数料		5,811,677			4,702,587	
		広告宣伝費		77,931			165,456	
		調査費		4,138,815			4,318,795	
		調査費		0			—	
		委託調査費	※ 2	4,138,814			4,318,795	
		委託計算費		200,594			163,984	
		営業雑経費		435,984			365,639	
		通信費		247,413			212,981	
		印刷費		160,208			130,935	
		協会費		28,362			21,722	
		営業費用計		10,665,004	45.6		9,716,463	47.6
		一般管理費						
		給料		6,888,334			5,308,793	
		役員報酬		161,011			163,438	
		給料・手当		3,004,836			2,866,902	
		賞与		1,029,476			488,900	
		株式従業員報酬	※1,2	778,541			199,573	
		その他の報酬		1,914,468			1,589,978	
		交際費		39,406			26,547	
		寄付金		44,518			92,237	
		旅費交通費		217,421			204,386	
		租税公課		47,335			60,314	
		不動産賃借料		576,617			458,251	
		退職給付費用		811,570			635,720	
		固定資産減価償却費		49,760			24,336	
		事務委託費		313,451			386,181	
		諸経費		1,218,027			1,284,675	
		一般管理費計		10,206,444	43.6		8,481,445	41.5
		営業利益		2,529,346	10.8		2,215,325	10.9

期別			第16期 自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月31日			第17期 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日			
科目			注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
経常損益の部	営業外損益の部	営業外収益	※1,2						
		為替差益			16,136			—	
		受取利息			21,964			21,224	
		投資有価証券売却益			—			77,795	
		株式従業員報酬			55,488			251,012	
		雑益			165			2,903	
		営業外収益計			93,755	0.4		352,935	1.7
		営業外費用							
		支払利息			—			0	
		為替差損			—			22,648	
		雑損			0			0	
		営業外費用計			0	0.0		22,649	0.1
経常利益					2,623,101	11.2		2,545,612	12.5

期別		第16期 自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月31日			第17期 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日			
科目		注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
特別 損益 の部	特別利益							
	金融商品取引責任準備 金戻入額			—			0	
	特別利益計			—	0.0		0	0.0
	特別損失							
	特別損失計			—	0.0		—	0.0
税引前当期純利益				2,623,101	11.2		2,545,613	12.5
法人税、住民税及び事業税				1,158,841	5.0		731,215	3.6
法人税等調整額				5,213	0.0		452,629	2.2
当期純利益				1,459,046	6.2		1,361,767	6.7

(3) 【株主資本等変動計算書】

第16期
(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
平成22年3月31日残高	490,000	390,000	390,000	15,600,864	15,600,864	16,480,864	42,747	42,747	16,523,611
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				△2,500,000	△2,500,000	△2,500,000			△2,500,000
当期純利益				1,459,046	1,459,046	1,459,046			1,459,046
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）							4,364	4,364	4,364
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△1,040,953	△1,040,953	△1,040,953	4,364	4,364	△1,036,588
平成23年3月31日残高	490,000	390,000	390,000	14,559,911	14,559,911	15,439,911	47,111	47,111	15,487,022

第17期
(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
平成23年4月1日残高	490,000	390,000	390,000	14,559,911	14,559,911	15,439,911	47,111	47,111	15,487,022
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				△3,000,000	△3,000,000	△3,000,000			△3,000,000
当期純利益				1,361,767	1,361,767	1,361,767			1,361,767
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）							5,294	5,294	5,294
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△1,638,232	△1,638,232	△1,638,232	5,294	5,294	△1,632,937
平成24年3月31日残高	490,000	390,000	390,000	12,921,678	12,921,678	13,801,678	52,406	52,406	13,854,085

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	その他有価証券 時価のあるもの 時価をもって貸借対照表価額とし、取得原価（移動平均法による原価法）ないし償却原価との評価差額については全部純資産直入する方法によっております。 時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。
2. 固定資産の減価償却の方法	無形固定資産 定額法により償却しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法により償却しております。
3. 引当金の計上基準	(1) 役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支出に備えて、当社内規に基づく期末要支給見積額を計上しております。 (2) 貸倒引当金 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 (3) 金融商品取引責任準備金 金融商品取引事故による損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5第1項に基づく責任準備金を計上しております。

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 株式従業員報酬の会計処理方法 役員及び従業員に付与されており、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬については、企業会計基準第8号「ストック・オプション等に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第11号「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」に準じて、権利付与日公正価値及び付与された株数に基づき計算される費用を権利確定計算期間にわたり人件費（営業費用及び一般管理費）として処理しております。また、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクおよびゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限会社との契約に基づき当社が負担する、権利付与日以降の株価の変動により発生する損益については営業外損益として処理しております。 (2) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
----------------------------	---

表示方法の変更

その他の報酬に関する表示方法の変更	従来、関係会社から振替えられる兼職職員関連の費用は、全て「一般管理費」の「その他の報酬」に含めておりましたが、人件費以外の費用も一部含まれていることから、当会計年度より、当該人件費以外の金額を財務諸表により明瞭に反映させるため、「一般管理費」の「諸経費」に含めることとしました。 この表示方法の変更を反映させるため、前会計年度の財務諸表の組替えを行っております。 この結果、前会計年度の損益計算書において、「一般管理費」の「給料」及び「その他の報酬」並びに「諸経費」に表示していた7,651,162千円、2,677,296千円及び455,198千円は、それぞれ、6,888,334千円、1,914,468千円及び1,218,027千円に組替えられております。
-------------------	--

注記事項

（貸借対照表関係）

第16期 (平成23年3月31日現在)	第17期 (平成24年3月31日現在)
＊1 関係会社項目 関係会社に対する資産及び負債には次のものがあります。 流動資産 未収収益 138,806千円 流動負債 未払費用 40,141千円 固定負債 長期未払費用 116,408千円	＊1 関係会社項目 同左 流動資産 未収入金 404,033千円

（損益計算書関係）

第16期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	第17期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
＊1 株式従業員報酬 役員及び従業員に付与されておりますザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬に関するものであり、当該株式の株価及び付与された株数に基づき算出し配賦されております。 ＊2 関係会社項目 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。 営業収益 運用受託報酬 1,154,351千円 その他営業収益 5,677,633千円 営業費用 委託調査費 4,138,814千円 株式従業員報酬 △119,593千円 営業外費用 株式従業員報酬 124,855千円	＊1 株式従業員報酬 同左 ＊2 関係会社項目 同左 営業収益 その他営業収益 5,452,985千円 営業費用 委託調査費 4,318,795千円 営業外収益 株式従業員報酬 56,181千円

(株主資本等変動計算書関係)

第16期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	6,400	—	—	6,400

2 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり配当 額（円）	基準日	効力発生日
平成22年9月27日 臨時株主総会	普通株式	2,500,000	390,625	平成22年9月30日	平成22年9月30日

第17期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	6,400	—	—	6,400

2 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり配当 額（円）	基準日	効力発生日
平成24年3月12日 臨時株主総会	普通株式	3,000,000	468,750	平成24年3月22日	平成24年3月22日

(リース取引関係)

第16期 （自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）	第17期 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）
注記すべきリース取引を行っていないため、該当事項はありません。	同左

（金融商品に関する注記）

第16期
（自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日）

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品の内容及び金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を含む金融商品取引法により金融商品取引業者が行うことができる業務、及びこれに付帯関連する業務を行っております。これらの業務に関連し、当社は、主に現金・預金、コマーシャル・ペーパー、未収委託者報酬及び未収運用受託報酬といった金融資産を保有しております。なお、当社は、資金運用については短期的な預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定する方針です。

② 金融商品に係るリスク及びその管理体制

金融商品に係るリスクは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク等であります。当社は、効率的なリスク管理が極めて重要であると考えており、職務の分掌と経営陣による監督は、当社リスク管理手続の重要な要素であります。

信用リスク

信用リスクとしては主に、当社が保有する預金に係る銀行の信用リスク、保有するコマーシャル・ペーパーに係る発行体の信用リスク、当社が運用する投資信託から受領する委託者報酬及び投資一任契約に基づき顧客から受領する運用受託報酬に関して、運用資産が悪化した場合に未収委託者報酬及び未収運用受託報酬を回収できず、当社が損失を被るリスクがあります。

当社は、預金に係る銀行の信用リスクに関しては、口座開設時、およびその後継続的に銀行の信用力を評価し、また各銀行に預け入れる金額に上限を設けることにより、預金に係る信用リスクを管理しております。

コマーシャル・ペーパーに関しましては、主にゴールドマン・サックスのグループ会社が発行するものとし、定期的に見直すことによって信用リスクを管理しております。

また、未収委託者報酬及び未収運用受託報酬に関しては、過去に回収できなかったケースは無く、特に未収委託者報酬に関しては、受託者たる信託銀行で分別管理されている当社が運用する信託財産から受領するため、リスクは非常に低いものと考えております。

市場リスク

当社は、海外の関連会社との取引により生じた外国通貨建て資産負債を保有していることから、為替相場の変動によるリスクに晒されております。当社は為替リスクを管理するため、外貨建資産負債の純額が予め社内で設定した水準を越える場合、当該通貨の売買を行い、為替リスクを削減しております。

流動性および資金調達リスク

当社は総資産の70%以上が現金・預金及びコマーシャル・ペーパーであり、また現金・預金及びコマーシャル・ペーパーの残高は負債総額を超えており、当社において流動性リスク及び資金調達リスクは非常に低いものと考えております。また、当社は、資金運用を預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定することで流動性リスクを管理しており、親会社との間で劣後条件付リボルビング・クレジット・ローン契約を締結することで、必要な場合の資金調達手段を確保し、資金調達リスクに備えております。

第16期
(自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日)

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日現在における貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	5,260,116	5,260,116	—
有価証券			
其他有価証券	11,996,812	11,996,812	—
未収委託者報酬	1,179,339	1,179,339	—
未収運用受託報酬	974,480	974,480	—

金融商品の時価の算定方法

上記金融資産については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

金銭債権及び満期のある有価証券の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	5,260,116	—	—	—	—	—
有価証券						
其他有価証券の うち満期があるもの	12,000,000	—	—	—	—	—
未収委託者報酬	1,179,339	—	—	—	—	—
未収運用受託報酬	974,480	—	—	—	—	—

第17期
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品の内容及び金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を含む金融商品取引法により金融商品取引業者が行うことができる業務、及びこれに付帯関連する業務を行っております。これらの業務に関連し、当社は、主に現金・預金、コマーシャル・ペーパー、未収委託者報酬及び未収運用受託報酬といった金融資産を保有しております。なお、当社は、資金運用については短期的な預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定する方針です。

② 金融商品に係るリスク及びその管理体制

金融商品に係るリスクは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク等であります。当社は、効率的なリスク管理が極めて重要であると考えており、職務の分掌と経営陣による監督は、当社リスク管理手続の重要な要素であります。

信用リスク

信用リスクとしては主に、当社が保有する預金に係る銀行の信用リスク、保有するコマーシャル・ペーパーに係る発行体の信用リスク、当社が運用する投資信託から受領する委託者報酬及び投資一任契約に基づき顧客から受領する運用受託報酬に関して、運用資産が悪化した場合に未収委託者報酬及び未収運用受託報酬を回収できず、当社が損失を被るリスクがあります。

当社は、預金に係る銀行の信用リスクに関しては、口座開設時、およびその後継続的に銀行の信用力を評価し、また各銀行に預け入れる金額に上限を設けることにより、預金に係る信用リスクを管理しております。

コマーシャル・ペーパーに関しましては、主にゴールドマン・サックスのグループ会社が発行するものとし、定期的に見直すことによって信用リスクを管理しております。

また、未収委託者報酬及び未収運用受託報酬に関しては、過去に回収できなかったケースは無く、特に未収委託者報酬に関しては、受託者たる信託銀行で分別管理されている当社が運用する信託財産から受領するため、リスクは非常に低いものと考えております。

市場リスク

当社は、海外の関連会社との取引により生じた外国通貨建て資産負債を保有していることから、為替相場の変動によるリスクに晒されております。当社は為替リスクを管理するため、外貨建資産負債の純額が予め社内にて設定した水準を越える場合、当該通貨の売買を行い、為替リスクを削減しております。

流動性および資金調達リスク

当社は総資産の75%以上が現金・預金及びコマーシャル・ペーパーであり、また現金・預金及びコマーシャル・ペーパーの残高は負債総額を超えており、当社において流動性リスク及び資金調達リスクは非常に低いものと考えております。また、当社は、資金運用を預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定することで流動性リスクを管理しており、親会社との間で劣後条件付リボルビング・クレジット・ローン契約を締結することで、必要な場合の資金調達手段を確保し、資金調達リスクに備えております。

第17期
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日現在における貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	3,285,446	3,285,446	—
有価証券			
其他有価証券	11,797,976	11,797,976	—
未収委託者報酬	1,064,467	1,064,467	—
未収運用受託報酬	1,026,201	1,026,201	—

金融商品の時価の算定方法

上記金融資産については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

金銭債権及び満期のある有価証券の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	3,285,446	—	—	—	—	—
有価証券						
其他有価証券のうち満期があるもの	11,800,000	—	—	—	—	—
未収委託者報酬	1,064,467	—	—	—	—	—
未収運用受託報酬	1,026,201	—	—	—	—	—

（有価証券関係）

第16期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)					第17期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)				
1. その他有価証券で時価のあるもの					1. その他有価証券で時価のあるもの				
区分	種類	取得原価 (千円)	貸借対照 表計上額 (千円)	差額 (千円)	区分	種類	取得原価 (千円)	貸借対照 表計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの	投資信託 受益証券	1,008,026	1,087,459	79,432	貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの	投資信託 受益証券	600,000	684,540	84,540
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えないもの	コマー シャル・ ペーパー	11,996,812	11,996,812	—	貸借対照表計上 額が取得原価を 超えないもの	コマー シャル・ ペーパー	11,797,976	11,797,976	—
2. 当事業年度中に売却したその他有価証券 該当事項はありません。					2. 当事業年度中に売却したその他有価証券				
					売却額（千円）		売却益の合計額 (千円)		売却損の合計額 (千円)
					1,095,821		77,795		—

（デリバティブ取引関係）

第16期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	第17期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、該 当事項はありません。	同左

（退職給付関係）

第16期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	第17期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
1 採用している退職給付制度の概要 当社は、退職給付制度を採用しておりません。	1 採用している退職給付制度の概要 同左
2 退職給付費用に関する事項 損益計算書上、出向者負担金等に含まれる退職給付費 用負担金相当額を、退職給付費用として計上しており ます。	2 退職給付費用に関する事項 同左

（税効果会計関係）

第16期 （自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）	第17期 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳 繰延税金資産（流動資産） 未払費用 371,686 千円 未払事業税 48,985 その他 20,502 小計 441,173 繰延税金負債（流動負債） 小計 — 繰延税金資産の純額 441,173 繰延税金資産（固定資産） 長期未払費用 1,275,508 役員退職慰労引当金 356,412 その他 37,328 小計 1,669,249 繰延税金負債（固定負債） その他有価証券評価差額金 △32,321 小計 △32,321 繰延税金資産の純額 1,636,928 千円	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳 繰延税金資産（流動資産） 未払費用 456,569 千円 未払事業税 15,881 その他 17,331 小計 489,782 繰延税金負債（流動負債） 小計 — 繰延税金資産の純額 489,782 繰延税金資産（固定資産） 長期未払費用 1,033,933 役員退職慰労引当金 81,558 その他 52,518 小計 1,168,010 繰延税金負債（固定負債） その他有価証券評価差額金 △32,133 小計 △32,133 繰延税金資産の純額 1,135,876 千円
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 法定実効税率 40.69 % （調整） 法人税等の税率変更による繰延税金資産の修正 6.24 % その他 -0.42 % 税効果会計適用後の法人税等の負担率 46.51 %

第16期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	第17期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
3 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正 該当事項はありません。 4 決算日後に法人税等の税率の変更があった場合のその内容及び影響 該当事項はありません。	3 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.69%から、平成24年4月1日に開始する事業年度以降、平成27年3月31日までに終了する事業年度までに解消が見込まれる一時差異については38.01%、平成27年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は156,460千円減少し、その他有価証券評価差額金が2,268千円、法人税等調整額が158,728千円それぞれ増加しております。 4 決算日後に法人税等の税率の変更があった場合のその内容及び影響 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第16期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

[関連情報]

第16期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1. 製品及びサービスに関する情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ファンド 関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	11,155,324	6,524,566	5,720,903	23,400,795

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	その他	合計
20,628,449	2,772,345	23,400,795

海外の外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める地域はありません。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

第17期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

[関連情報]

第17期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1. 製品及びサービスに関する情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ファンド 関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	9,262,739	5,636,349	5,514,145	20,413,234

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	その他	合計
18,556,174	1,857,060	20,413,234

海外の外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める地域はありません。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

（関連当事者との取引）

第16期
（自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日）

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 （千円）	科目	期末残高 （千円）
親会社	ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	6,965 百万ドル	持株会社	被所有 直接 1% 間接 99%	株式従業員報酬の配賦	営業費用及び一般管理費（注1）	△119,593	未払費用	40,141
							株式従業員報酬（注1）	124,855	長期未払費用	116,408
親会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	22 百万ドル	投資顧問業	被所有 直接 99%	投資助言	運用受託報酬（注2）	1,154,351		
							その他営業収益（注2）	5,677,633	未収収益	138,806
							委託調査費の支払（注2）	4,138,814		

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）持株会社の株価及び付与された株数に基づき、算出し配賦されております。

（注2）運用受託報酬、その他営業収益及び委託調査費の支払に関しては、関係会社間の契約に基づき決定しております。

役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

第16期
(自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日)

兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス証券株 式会社	東京都港 区	83,616 百万円	金融商品取 引業	—	業務委託 役員の兼 任 有価証券 の購入	支払手数料 兼務従業員の 人件費等の支 払（注1） 受取利息	149,454 2,565,003 21,114	未払手数料 未払費用 有価証券 立替金	17,326 474,311 11,996,812 38
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス・ジャパ ン・ホール ディングス 有限会社	東京都港 区	100 百万円	ゴールドマ ン・サック ス・グルー プ人事・総 務・施設管 理業務受託	—	従業員出 向受入等 役員の兼 任	出向者に関す る人件費等の 負担金（注2） 営業費用及 び一般管理 費 株式従業員 報酬	 7,056,607 △ 11,019	未払費用 立替金 長期未払 費用	862,578 43,759 3,791,077
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス・インベ ストメント ・ストラテ ジー・LLC	アメリカ 合衆国 ニュー ヨーク州	41 百万ドル	投資顧問業	—	投資助言	運用受託報酬 (注3)	1,617,993	未収収益	365,104
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス・グロー バル・サー ビス・IIリ ミテッド	ケイマン 諸島	33 百万ドル	ゴールドマ ン・サック ス・グルー プ人事業務 受託	—	従業員出 向受入	出向者に関す る人件費等の 負担金（注2） 営業費用及 び一般管理 費 株式従業員 報酬	 434,078 △63,231	未払費用 長期未払 費用	495,731 △43,158

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）兼務従業員の人件費等の支払に関しては、関係会社間の契約に基づき、決定しております。

（注2）ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限会社（以下GSJH）または、ゴールドマン・サックス・グローバル・サービスII・リミテッド（以下GS2L）より出向している役員及び従業員の給料、賞与、退職金等の支払はGSJH、GS2Lより行われております。
但し、これらの費用はGSJH、GS2Lより当社に請求されるものであり、賞与及び退職給付の引当額については、当社においてはGSJH、GS2Lに対する債務として処理しております。

（注3）運用受託報酬に関しては、関係会社間の契約に基づき決定しております。

親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所に上場）
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（未上場）

第17期
（自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日）

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 （千円）	科目	期末残高 （千円）
親会社	ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク	アメリカ合衆国ニューヨーク州	3,108 百万ドル	持株会社	被所有 直接 1% 間接 99%	株式従業員報酬の配賦	株式従業員報酬（注1）	56,181	—	—
親会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国ニューヨーク州	316 百万ドル	投資顧問業	被所有 直接 99%	投資助言	その他営業収益（注2） 委託調査費の支払（注2）	5,452,985 4,318,795	未収入金	393,727

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）持株会社の株価及び付与された株数に基づき、算出し配賦されております。

（注2）その他営業収益及び委託調査費の支払に関しては、関係会社間の契約に基づき決定しております。

役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

第17期
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス証券株式 会社	東京都港 区	83,616 百万円	金融商品取 引業	—	業務委託 役員の兼 任 有価証券 の購入	兼務従業員の 人件費等の支 払（注1）	2,304,783	有価証券	11,797,976
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス・ジャパ ン・ホール ディングス 有限会社	東京都港 区	100 百万円	ゴールドマ ン・サック ス・グルー プ人事・総 務・施設管 理業務受託	—	従業員出 向受入等 役員の兼 任	出向者に関す る人件費等の 負担金（注2） 営業費用及 び一般管理 費 株式従業員 報酬	5,339,280 171,617	未払費用 長期未払 費用	1,111,143 3,017,713
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス・バンク ・USA	アメリカ 合衆国 ユタ州	19,214 百万ドル	銀行業	—	現金の預 入	—	—	現金・預 金	360,145
親会社 の子会 社	ゴールドマ ン・サック ス・インベ ストメント ・ストラテ ジー・LLC	アメリカ 合衆国 ニューヨーク州	32 百万ドル	投資顧問業	—	投資助言	—	—	未払費用	212,193

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）兼務従業員の人件費等の支払に関しては、関係会社間の契約に基づき、決定しております。

（注2）ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限会社（以下G S J H）より出向している役員及び従業員の給料、賞与、退職金等の支払はG S J Hより行われております。

但し、これらの費用はG S J Hより当社に請求されるものであり、賞与及び退職給付の引当額については、当社においてはG S J Hに対する債務として処理しております。

親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所に上場）

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（未上場）

（１株当たり情報）

第16期 （自 平成22年４月１日 至 平成23年３月31日）		第17期 （自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
１株当たり純資産額	2,419,847円31銭	１株当たり純資産額	2,164,700円82銭
１株当たり当期純利益金額	227,976円06銭	１株当たり当期純利益金額	212,776円18銭
損益計算書上の当期純利益	1,459,046千円	損益計算書上の当期純利益	1,361,767千円
１株当たり当期純利益の算定に用 いられた普通株式に係る当期純利 益	1,459,046千円	１株当たり当期純利益の算定に用 いられた普通株式に係る当期純利 益	1,361,767千円
差額	—	差額	—
期中平均株式数		期中平均株式数	
普通株式	6,400株	普通株式	6,400株
なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額につい ては、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載して おりません。		同左	

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

[次へ](#)

1. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

区分	注記 番号	第18期中間会計期間末 (平成24年9月30日)	
		金額	構成比
(資産の部)		千円	%
I 流動資産			
現金・預金		2,254,055	
有価証券		8,198,673	
支払委託金		38	
未収入金		4,896	
未収委託者報酬		1,452,209	
未収運用受託報酬		1,474,882	
未収収益		164,140	
立替金		94,352	
繰延税金資産		405,374	
流動資産計		14,048,625	68.9
II 固定資産			
投資その他の資産			
投資有価証券		5,015,540	
長期差入保証金		10,000	
繰延税金資産		1,325,987	
その他		66	
投資その他の資産計		6,351,594	
固定資産計		6,351,594	31.1
資産合計		20,400,220	100.0

区分	注記 番号	第18期中間会計期間末 (平成24年9月30日)	
		金額	構成比
(負債の部)		千円	%
I 流動負債			
預り金		328	
未払金		476,081	
未払費用		1,186,141	
未払法人税等		557,382	
その他	＊ 1	62,788	
流動負債計		2,282,722	11.2
II 固定負債			
長期末払費用		3,403,146	
役員退職慰労引当金		222,911	
その他固定負債		650	
固定負債計		3,626,708	17.8
負債合計		5,909,430	29.0

区分	注記 番号	第18期中間会計期間末 (平成24年9月30日)	
		金額	構成比
(純資産の部)			
I 株主資本			
資本金		490,000	
資本剰余金			
資本準備金		390,000	
資本剰余金合計		390,000	
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金		13,601,156	
利益剰余金合計		13,601,156	
株主資本合計		14,481,156	71.0
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		9,633	
評価・換算差額等合計		9,633	
純資産合計		14,490,789	71.0
負債・純資産合計		20,400,220	100.0

(2) 中間損益計算書

区分	注記 番号	第18期中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
		金額	百分比
I 営業収益	* 1	千円	%
委託者報酬		4,773,984	
運用受託報酬		2,887,405	
その他営業収益		2,479,576	
営業収益計		10,140,966	100.0
II 営業費用及び一般管理費		9,078,365	89.5
営業利益		1,062,601	10.5
III 営業外収益		77,171	0.8
IV 営業外費用		26	0.0
経常利益		1,139,746	11.2
税引前中間純利益		1,139,746	11.2
法人税、住民税及び事業税		539,744	5.3
法人税等調整額		△79,476	△0.8
中間純利益		679,477	6.7

重要な会計方針

項目	第18期中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	その他有価証券 時価のあるもの 時価をもって中間貸借対照表価額とし、取得原価（移動平均法による原価法）ないし償却原価との評価差額については全部純資産直入する方法によっております。 時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。
2. 引当金の計上基準	(1) 役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支出に備えて、当社内規に基づく当中間会計期間末要支給見積額を計上しております。 (2) 貸倒引当金 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 (3) 金融商品取引責任準備金 金融商品取引事故による損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5第1項に基づく責任準備金を計上しております。
3. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 株式報酬の会計処理方法 役員及び従業員に付与されております、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬については、企業会計基準第8号「ストック・オプション等に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第11号「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」に準じて、権利付与日公正価値及び付与された株数に基づき計算される費用を権利確定計算期間にわたり人件費（営業費用及び一般管理費）として処理しております。また、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクおよびゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限会社との契約に基づき当社が負担する、権利付与日以降の株価の変動により発生する損益については営業外損益として処理しております。 (2) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

注記事項

（中間貸借対照表関係）

項目	第18期中間会計期間末 （平成24年9月30日）
＊1 消費税等の取扱い	控除対象の仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、流動負債の「その他」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

項目	第18期中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
＊1 営業外収益のうち主要なもの	株式報酬 67,996千円
	受取利息 8,994千円

（リース取引関係）

第18期中間会計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

注記すべきリース取引を行っていないため、該当事項はありません。

（金融商品関係）

第18期中間会計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

平成24年9月30日現在における中間貸借対照表計上額、中間貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	2,254,055	2,254,055	—
有価証券			
其他有価証券	8,198,673	8,198,673	—
未収委託者報酬	1,452,209	1,452,209	—
未収運用受託報酬	1,474,882	1,474,882	—
投資有価証券	5,015,540	5,015,540	—

金融商品の時価の算定方法

投資有価証券以外の上記金融資産については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

投資有価証券につきましては、投資信託のため、直近の基準価額によっております。

（有価証券関係）

第18期中間会計期間末（平成24年9月30日）

其他有価証券

区分	種類	取得原価 (千円)	中間貸借対照表 計上額 (千円)	差額 (千円)
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	600,000	615,540	15,540
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	4,400,000	4,400,000	—
	コマーシャル・ペーパー	8,198,673	8,198,673	—

（デリバティブ取引関係）

第18期中間会計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。

（セグメント情報等）

〔セグメント情報〕

第18期中間会計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

〔関連情報〕

第18期中間会計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 製品及びサービスに関する情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ ファンド関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	4,773,984	2,887,405	2,479,576	10,140,966

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

（単位：千円）

日本	その他	合計
9,260,912	880,054	10,140,966

海外の外部顧客からの収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める地域はありません。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

（１株当たり情報）

第18期中間会計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	
１株当たり純資産額	2,264,185円88銭
１株当たり中間純利益金額	106,168円35銭
なお、潜在株式調整後１株当たり中間純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載して おりません。	
(１株当たり中間純利益金額の算定上の基礎)	
中間損益計算書上の中間純利益	679,477千円
１株当たり中間純利益金額の算定に用いられた普通株式に係る中間純利益	679,477千円
差 額	—
期中平均株式数	
普通株式	6,400株

（重要な後発事象）

第18期中間会計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、金融商品取引法の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (3) 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)(5)において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記(3)(4)に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5【その他】

- (1) 委託会社に関し、定款の変更、定款の変更、営業譲渡および営業譲受、出資の状況その他の重要な事項は予定されておりません。
- (2) 本書提出日現在の前1年以内において、訴訟事件その他委託会社等に重要な影響を及ぼした事実および重要な影響を及ぼすことが予想される事実は存在しておりません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 投資顧問会社

(2011年12月末日現在)

名称	資本金の額	事業の内容
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（GSAMニューヨーク）	316.8百万米ドル (24,629百万円。 1米ドル=77.74円)	GSAMニューヨークは、米国において、内外の有価証券等に係る投資顧問業務およびその他付帯関連する一切の業務を営んでいます。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル（GSAMロンドン）	1,695千米ドル (132百万円。 1米ドル=77.74円)	GSAMロンドンは、主として英国において業務を行うゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーの関連企業です。GSAMロンドンおよびその投資顧問関連企業は、現在、投資信託、公的年金・企業年金、各種公益基金、銀行、保険会社、事業法人および個人投資家を含む広範囲の顧客にサービスを提供しています。
ゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイー（GSAMシンガポール）	47.42百万米ドル (3,686百万円。 1米ドル=77.74円)	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーの子会社であるGSAMシンガポールは、シンガポールにおいて、投資銀行業務、トレーディングおよび自己勘定投資ならびに証券関連サービスを営んでおり、その資産運用部門は内外の有価証券等に係る投資顧問業務、その他付帯関連する一切の業務を営んでいます。

(2) 受託銀行

(2012年3月末日現在)

名称	資本金の額	事業の内容
みずほ信託銀行株式会社	247,369百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

(3) 販売会社

(2012年3月末日現在)

名称	資本金の額	事業の内容
SMBC日興証券株式会社	10,000百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を中心としたサービスを提供しています。
ゴールドマン・サックス証券株式会社	83,616百万円	
野村證券株式会社 ^(注)	10,000百万円	
マネックス証券株式会社	7,425百万円	
楽天証券株式会社	7,495百万円	
株式会社山形銀行	12,008百万円	銀行業を中心としたサービスを提供しています。
株式会社群馬銀行	48,652百万円	
株式会社愛知銀行	18,000百万円	
株式会社南都銀行	29,249百万円	
株式会社ジャパンネット銀行	37,250百万円	
香港上海銀行 ^(注)	32,140百万香港ドル (340,044百万円 1香港ドル=10.58円) 11,734百万米ドル (964,376百万円 1米ドル=82.19)	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。
みずほ信託銀行株式会社	247,369百万円	

(注) 新規のお申込みのお取扱いは行いません。

2 【関係業務の概要】

(1) 投資顧問会社

G S A Mニューヨーク、G S A MロンドンおよびG S A Mシンガポールは本ファンドの投資顧問会社であり、本ファンドに関し、委託会社より債券および通貨の運用の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行っています。

(2) 受託銀行

本ファンドの受託者として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行います。

(3) 販売会社

本ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

3 【資本関係】

(1) 投資顧問会社

G S A Mニューヨーク、G S A Mロンドン、G S A Mシンガポールおよび委託会社はいずれもザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。G S A Mニューヨークは、委託会社の発行済株式総数の99%を所有する親会社です。

(2) 受託銀行

該当事項はありません。

(3) 販売会社

ゴールドマン・サックス証券株式会社および委託会社は、いずれもザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。その他は該当事項はありません。

第3【参考情報】

当計算期間において提出した書類は以下のとおりです。

2012年7月30日	臨時報告書
2012年8月17日	有価証券届出書
2012年8月17日	有価証券報告書
2012年10月30日	臨時報告書

独立監査人の監査報告書

平成24年12月18日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 和田 渉
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているG S新成長国債券ファンドの平成24年5月18日から平成24年11月19日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、G S新成長国債券ファンドの平成24年11月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) 財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年5月29日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第17期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(※) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成24年12月3日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第18期事業年度の中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。